



2

2014 FEBRUARY

あなたと町を結ぶ広報

なみえ



ホームページやフェイスブックは、
携帯からもご覧いただけます。
QRコードをご利用ください。

平成26年2月 No.577

毎月1回1日発行

- 2 ご成人おめでとうございます
- 4 町民の皆さんへ
- 5 町長から行政報告をしました
- 10 農業者アンケート結果のお知らせ
- 13 みんなでともに乗り越えよう
- 14 確定申告・みんなの図書館
- 16 保健だより
- 18 本格除染・いつかためになる法律知識
- 20 まちの話題
- 23 情報びっくあっぷ
- 28 浪江のころ通信
- 32 連絡先一覧

今月の表紙

新たな希望 (1月12日 平成26年浪江町成人式)



二本松市安達支所

安達文化ホール入口

ご成人おめでとございませう

輝かしい未来。誇りある人生を

誓いのことば



祝平成26年 浪江町成人式

浪江地区

1月12日、平成26年浪江町成人式が安達文化ホール（二本松市）で開催され、今年度の新成人の門出を祝いました。今年も、ふるさとを離れ異郷の地での成人式となりましたが、出席した新成人200名は、輝く眼差しとはたちの志を胸に、堂々と羽ばたいていきました。また、久しぶりの友人・恩師との再会に、笑顔あふれる成人式となりました。



請戸・幾世橋地区



●新成人代表●
居村 知生さん
(請戸地区)

新たな道を歩み始め、遠く離れ離れになったかけがえない友人たちと、生まれ育った浪江町ではありませんが、この福島で成人式を迎えることができ、そして、このような盛大な式を挙行していただいたことを嬉しく思います。

しかし、共に成人を迎えることのできなかった友人を思うと胸が痛み、考えさせられるものがあります。今日、私たちがこの場に立っているのは決して自分ひとりだけの力ではありません。地域の方々や恩師、友人たちに励まされ、助け、支えられていることを今、強く実感しています。また、家族のため懸命に働き続ける父、時に厳しく時に優しく、心はいつも側で支え続けてくれる母、そして家族のおかげです。成人を代表し、この場をお借りして感謝申し上げます。本当にありがとうございました。20年間、受け取るばかりの数多くの恩をこれから微力ではありますが、返していきたいと思えます。浪江町に帰ることはできるのか、心の復興とは何なのか、不安と疑問

を抱え、町民の皆さんは未だに避難先での生活を余儀なくされています。しかし、そのような環境の中で、水産業の発展、伝統芸能での浪江町民の活躍、B-1グランプリで浪江焼麺太国が念願のグランプリを獲得するなど、浪江町と全国に明るいニュースを発信していただきました。町民に笑顔と希望を与え、目に見える形の復旧、町民一人ひとりの復興に向けて、少しずつ前に進んでいるように思えます。

これまで、町の発展や復興にご尽力いただいた方々の思いを、これから私たちが受け継いでいかなければなりません。普段味わうことのない悲しみや苦しみを経験し、多くの試練を乗り越えてきた私たちだからこそ、できることがあると思います。失った過去を取り戻すことはできませんが、私たちの手で新たな未来を作り上げていきたいと思えます。私は、作業服で役場に向かう父の姿に憧れ、震災を通してその気持ちはより一層強くなりました。そして、信念を持って父の背中を追いかけ、いざれ先頭に立って浪江町に戻りたくなる町づくりに取り組み、復興に努めたいと思えます。しかし、一人の力では限界があると思うので、皆の思いを共有し力を合わせて、ふるさと浪江町を築いていきたいです。

最後になりますが、自覚、責任を持って、人を思いやることのできる新成人を目指し、力強く生きていく決意を申し上げ、新成人代表の誓いのごとばといたします。



●請戸地区●
石井 麻矢さん

本日、無事に成人式を迎えられましたこと、心よりうれしく思います。

私は現在、福島県を離れ一人暮らしをしています。震災の起こったあの日から今日まで、あつという間でした。

私たちの生まれ育った請戸地区は津波の被害で跡形も無くなってしまいました。大切な友人も失ってしまい、当時の悲しみや辛さを今でも忘れはしません。そんな中、ここまで頑張ってきたのは周りで支えてくださった方々、何より両親の支えがあったからだと思います。20年間、本当にいろいろありました。今までありがとうございました。そしてこれからもよろしくお祈りします。



●幾世橋地区●
櫻田 佑也さん

このたび、晴れて成人者の仲間入りとなりましたこと、誠にうれしく思います。私たちは無事、成人式を迎え



●浪江地区●
岩野 愛さん

このたび、無事に成人式を迎えることができ、大変うれしく思います。

今までどんなときも温かく支えてくれた家族や友人には感謝の気持ちでいっぱいです。

3年前、震災を経験し、環境の変化に多くの不安を抱えながらもそれぞれ自分の道を歩んできましたが、その日々の中でいろいろな面で支援して下さった方々の温かさを改めて感じました。

今後は、今まで支えてくれた方々への感謝の気持ちを忘れず、社会人として自分の言動に責任を持ち、少しでも社会や浪江町の復興に貢献できるように努力していきたいと思えます。



●大堀地区●
長田 和希さん

無事に成人式を迎えることができました。

この日を迎えられるのも家族、友人、恩師、多くの方々の支えがあってこそであり、感謝の気持ちでいっぱいです。

今日から大人の仲間入りです。今までの学生気分を一扫し、社会人としてマナーやモラルを心に刻み込み、自分の行動には責任を持ちたいと思えます。現状に満足することなく、両親のような立派な大人になりたいです。



●苧野地区●
石井 梓紗さん

成人式という大きな節目を迎えるにあたり、改めて自分の成長を振り返ってみると、自分の未熟さばかりを思い知らされる20年間でした。周りで支えてくれた、たくさんの人へ感謝の気持ちでいっぱいです。

今後も感謝の気持ちを忘れることなく、一社会人として、自覚、責任を持ち、将来の夢に向

津島地区



大堀・苧野地区



避難先での 3回目の成人式を終えて

浪江町長 馬 場 有

正月を迎えたと思いきや、早や「如月」の節分の候になります。

「裸参り」「安波祭」「田植え踊」と伝統行事の催事が皆さまには懐かしいのではないでしようか。

去る1月12日、避難先で3回目の成人式を開催いたしました。全国から200名の新成人の皆さんが出席され、久しぶりに友人たちと再会し抱き合って喜ぶ姿には胸が熱くなりました。震災と原発事故というとても苦しい苦難に直面し、その苦しみを乗り越え一人ひとり立派に成人した姿を見て、私もこれまで以上に精進しなければならぬとの決意を新たにいたしました。

さて、「ふるさと再生」の一環として面的な本格除染が開始されております。順次面的拡大をはかり復旧作業を急ぎたいと思います。また、町民一人ひとりの選択肢が広がるよう生活再建・生活支援に万全を期してまいります。「緊急対応期・復旧期」(震災・原発事故から3カ年)終了まであと2カ月となりました。未解決の課題が残っておりますが、全力で課題解決にむけて、次のステップに入りたいと考えております。

大寒が過ぎたとはいえ、まだまだ寒さが続きます。町民の皆さまにはくれぐれもご身体をご自愛いただき、元気で厳しい環境を克服されることを祈念します。

町長から行政報告をしました

※一部抜粋

浪江町名誉町民 顕彰式・ 功労者表彰式

文化の日の11月3日、浪江町名誉町民顕彰式・第41回浪江町功労者表彰式を二本松市内にて開催しました。

◆名誉町民顕彰

浪江町名誉町民の称号をお贈りしたのは、浪江町出身の民謡歌手である原田直之氏です。氏は民謡名人位などの輝かしい経歴をお持ちであり、数々の賞を受賞され、日本歌手協会の理事長を務められるなど、郷土の名誉を著しく高められました。

また、故郷に対しては観光親善大使やふるさと浪江会長を務められるなど、震災以前から郷土の発展にご協力いただいております。震災後は物心両面から被災した町民が勇気づけられ、特段のご支援をいただいております。町としては、平成6年の荒義尚様、松浦京様以来20年ぶり、3人目の名誉町民となります。

◆功労者表彰

特別功労表彰は5名の方々に、長年にわたり地域社会における産業振興や、地方自治、学校教育等の分野で日夜尽力された方々、並びに身を挺して震災対応をされた方です。

功労表彰は14名の方々に、地方自治、地方行政、伝統芸能の継承

に日夜尽力された方々、身を挺して震災後の対応をされた方、震災以降浪江町民を援助くださった方です。

善行表彰は31名の方々に、多年にわたり消防団として尽力された方、震災時に模範的な行動をとられた方、震災以降浪江町民を援助くださった方です。

総計50名に賞状および記念品を贈呈し、ご功績を讃えました。

浪江町復興計画「第一次」の着 管理および個別 計画の検討

浪江町復興計画「第一次」の着実かつ適切な実施を進めるため、町民協働により計画の進行管理をする部会と、復興計画に掲げたまちづくりの方向性をより具体的にまとめるための個別計画となる、まちづくり整備計画の検討をする部会に分け、検討を進めています。



浪江町復興計画「第一次」の着実かつ適切な実施を進めるため、町民協働により計画の進行管理をする部会と、復興計画に掲げたまちづくりの方向性をより具体的にまとめるための個別計画となる、まちづくり整備計画の検討をする部会に分け、検討を進めています。

◆町民協働による進行管理部会

これまで7回の部会を開催し、復興計画に掲げた施策を分野ごとに成果確認、課題抽出、対応策の検討をしてきました。11月6

日の第2回復興計画策定委員会(全体会)において、最終確認を行い町へ提言をいただきました。今後は、いただいた提言内容をしっかりと受け止め、復興・復旧に関する施策への反映をしていきたいと考えています。

◆まちづくり計画検討部会
これまで7回の部会を開催し、帰還に向けたふるさととのまちづくりについて議論を行ってまいりました。

また、10月20日には「ふるさと浪江町を考える懇談会」を福島市において開催し、避難されている皆さんからご意見をいただきました。このたび、これまでの議論をもとにまちづくり計画の中間取りまとめを行いました。

今後、パブリックコメントを実施し、多くの皆さまのご意見を取り入れ、3月上旬を目標に復興まちづくり計画を町に提言していただく予定です。

福島原子力災害 避難区域等帰還 再生加速事業」 「福島避難解除等 区域生活環境整備 事業」

本年4月1日に区域が再編されたことに伴い、立ち入りされた町民の利便性や安全の確保、町内の防犯・防災および荒廃抑制や保

全、また公共施設の機能回復のため「福島原子力災害避難区域等帰還・再生加速事業」及び「福島避難解除等区域生活環境整備事業」により対策を講じてきました。

9月以降は、防犯対策の更なる強化のため、町内各パブリック設置個所付近へ8台の車番認識防犯カメラの設置、本庁舎の機能回復のための修繕、下水道マンホールポンプ場の設備機能回復のための修繕などを当該事業として実施するため、国との委託契約を締結しました。

今後も当該事業を効果的に活用し町の復旧・復興の加速化を図りたいと考えています。

住民意向調査



8月に復興庁と福島県、浪江町の3者共同で実施した住民意向調査の結果速報が10月4日に発表されました。

世帯の代表者を対象として、9、656世帯に対し郵送により実施しました。このうち回答は6、132世帯、回収率は63・5%でした。

今回の調査の主な目的は、町外に整備する復興公営住宅の整備戸数の把握と、浪江町への帰還意向の把握、の2つでした。

◆復興公営住宅

希望する28・0%、判断できない36・1%、希望しない34・8%となっており、世代別にみると、高齢者の希望が多い傾向になっています。

また、希望する自治体については、南相馬市577世帯、いわき市479世帯、二本松市302世帯、福島市314世帯、郡山市133世帯となっており、入居を希望する方の総数は2、065世帯となっています。

◆町への帰還の意向

戻りたいと考えている18・8%、判断がつかない37・5%、戻らないと決めている37・5%となっています。

前回の意向調査とは、対象者や設問の内容が異なることから、単純な比較はできませんが、判断がつかない、帰らないという方の割合が増えており、町民の皆さんの判断材料となる情報を、より早く提供できるよう努めます。

町外コミュニティ

◆二本松市

油井字根柄山に復興公営住宅の整備を決定し、二本松市と県との間で用地取得に向けた手続きを進めています。県で住宅の配置などの検討をしています。敷地の形状を勘案し、集会所、駐車場を整備した場合、建て方にもよりますが、70〜100戸程度とな

浪江町消防団・秋季検閲式

10月6日、平成25年度浪江町消防団秋季検閲式を挙行了しました。昨年行われた秋季検閲式同様、二本松市東和地区の浪江中学校体育館にて実施しましたが、団長以下102名の消防団員が避難先から参加しました。

式典では3年ぶりに団長表彰が行われ、功績賞として9名、精勤賞として23名の団員が受賞しました。

行方不明者の一斉捜索

10月11日、双葉警察署主催による行方不明者の一斉捜索が行われました。

震災から2年半の節目でもあることから、浪江町からも地区住民の方々を含め、消防団員、議会議員、町職員など35名の方が参加し、警察署、消防署と合同で、主に請戸海岸を中心に行方不明者の捜索活動を行いました。

立入休憩施設の開設

10月1日、一時立入りのための休憩施設を、それまでの「サンシャインなみえ」から、介護老人保健施設「貴布祢」へ移設しました。「貴布祢」のホールおよび和室に

る見込みと聞いています。8月の意向調査では二本松市への希望世帯は302世帯で開きがあるため、追加の用地が必要と考えられており、追加の候補地の選定を二本松市に要請しています。

◆いわき市

意向調査での希望世帯は479世帯となっています。整備状況としては、先行整備分2地区250戸について平成25年11月19日に着工し、平成26年12月末まで完成予定となっています。

また、11月8日には新たに3地区138戸の整備が発表されました。入居目標年度は平成26年度から平成27年度となっています。いわき市には浜通りの被災自治体住民が多数避難していますので、必要な戸数の整備に向けて取り組んでいくとともに、入居募集に係る内容検討や、必要な生活サービスの確保に向け関係自治体と連携を取っていきます。

◆南相馬市

意向調査によると復興公営住宅を希望する世帯は577世帯となっています。こちらも11月8日に新たに原町区北原と原町区上町の2地区350戸が発表されました。一刻も早く希望者が入居できるように求めています。

◆その他の地域

その他の地域での復興公営住宅整備については、桑折町が平成25年2月13日に締結した協定書

に基づき、町営の復興公営住宅25戸について平成26年度完成を予定し整備を進めています。

また、本宮市からも同市に避難している浪江町民の支援のために市営の復興公営住宅を整備したいとの申し出があります。

町としては、まず南相馬市、いわき市、二本松市の町外コミュニティについてしっかりと整備を進めることとし、その他の地域については応急仮設住宅の一刻も早い解消に向け、国・県にも強く働きかけ、必要な復興公営住宅を早急に確保できるよう取り組みます。



浪江のこころ通信」総集編の制作

全国に避難を余儀なくされた町民の皆さんの思いを共有し、町民同士の絆を維持するため、毎月の「広報なみえ」に掲載している「浪江のこころ通信」について、

これまでの掲載分を一冊にまとめた総集編を制作したいと考えています。平成23年7月号から開始した「浪江のこころ通信」には、これまで延べ200人以上の皆さんに登場していただいたお

り、震災から3年を迎える来年3月に合わせて、町民の皆さんに「総集編」を配布し、長期化する避難生活の中の心の支えとして、絆の維持につなげていきたいと考えています。

情報受信とコミュニケーションに関するアンケート

7月に情報受信とコミュニケーションに関するアンケートを実施し、その調査結果がまとまりました。

役場からの情報提供の満足度については、年齢層が高いほど不満を持っているという結果になり、欲しい情報としては、賠償や復興計画、浪江の今、町民の様子などを求めているということがわかりました。

この結果を受け、毎月の広報に、町長のメッセージや賠償に関するコーナー掲載することや、町のフェイスブックで町民の皆さんの写真を掲載するなど改善に努めており、引き続き、町民の皆さんが求める情報を迅速に提供できるよう取り組みます。

B-1 グランプリ

11月9日、10日に愛知県豊川市で開催された、第8回B-1グランプリにおいて、浪江焼麺天国が、参加64団体の中、1位となるゴールドグランプリを獲得しました。

全国各地にバラバラに避難した太国のメンバーが、浪江町の「絆」を維持するために、また風化する震災の記憶を全国に伝えるため、それぞれ避難生活で困難な中でも参加し続けていました。昨年・一昨年はともに4位、今年

は参加4回目において念願のゴールドグランプリを獲得したことは、避難生活を送っている町民にとっても非常に喜ばしいことであり、浪江町の頑張る姿を全国に発信していただけたことと思います。

来年の第9回B-1グランプリは、郡山市で開催されます。本来なら「愛Bリーグ」に加盟している団体が所在する自治体しか開催できないところですが、今回は復興支援の特別大会として、浪江町と郡山市・愛Bリーグとの連携により実行委員会を立ち上げ、福島ので開催することになりました。

町としてもホスト町として、浪江町を全国に発信できるように準備を進めて行きたいと考えています。

テール・長机を準備したほか、浄化槽設置による水洗トイレの整備、さらに飲料用の自動販売機やウォーターサーバーを設置し、立入者の利便性の向上に努めています。

なお、9月のサンシャインなみえの月間利用者数133名に比べ、10月の貴布祢利用者数は357名でした。

防災行政無線の復旧

区域再編に伴い、これまでより浪江町内への立入が緩和されたことから、防災体制の強化のため、防災行政無線の復旧工事を優先的に行ってきましたが、津波流失分6基の新設、また既存53基の子局の復旧工事が終了し、10月1日から全基稼働しました。

町内に立ち入りされている方には、今後、防災情報や緊急情報等を防災行政無線により迅速に広報しますので、注意を払っていただきたいと思います。

浪江町ADR集団申立て

10月24日まで第4次の申立を終了し、申立者数は、15、313名・世帯数は6、489世帯となりました。

浪江町ADR集団申立ての、現在までの経過および今後の予定についての住民説明会を、11月30日に二本松、12月8日に南相馬市

で行い、12月21日はいわき市で行う予定です。

農業、水産業

農業や水産業については、町広報誌でもご案内していますが、それぞれの業の再生に向け動きが出てきています。

農業は浪江町地域農業再生協議会、水産業は浪江町水産業協働委員会にて担い手である町民の方々と、活発に意見交換をしています。

そういったなか、農業では農業者が主体となった、浪江町の農業・農地を考える会が9月に発足し、浪江町内の視察を含め、これまで3回の会合を重ねた中で、荒廃した農地の保全や新たな農業の選択肢についての話し合いが行われています。

町の再生は行政だけでは成し得ませんので、以上のような取り組みを実践することで、住民協働のまちづくりを推し進めていきます。

浪江町内での事業再開状況



◆町内での事業者の活動状況(11月末現在)
9月定例会で報告して以降、町

内で新たに再開した事業者はいませんが、大手コンビニのセブンイレブン、ローソン、ファミリーマートより事業再開の相談がありました。町内の除染作業員を対象とした営業を検討しているとのことで、浪江町商工会へもそういった動きがあることを伝え、町内にあった小売業の再開についても、改めて打診をしました。

◆町内で操業していた大手製造業への企業訪問

町内で操業していた大規模工場の浪江日立化成工業、浪江日本ブレイキ、エスエス製薬をそれぞれ訪問し、いずれ浪江町に帰還して再操業していただくために、社の代表者と意見交換をしました。

各社とも、現時点では先行きが不透明であるため再開の確約はできないものの、何らかの形で協力したい旨のお話はいただきました。こういった企業に浪江町へ戻ってきてもらえるよう、いち早く町内の環境を整えていく必要があることを再認識したところであり、引き続き、町内にあった企業を引き留めるための意見交換等を実施します。

浪江町内の除染の進捗状況

酒田行政区において、本格除染

工事は発注済みであり、現在、仮置場の造成中で、来年の3月末までに面的除染が完了します。

また、大堀取水場、大堀配水池、末ノ森配水池、末ノ森中継ポンプ場、北部衛生センターの先行除染工事の発注も済みであり、来年の3月末までに作業を終える予定です。

次に、除染業務発注に必要な条件が整った高瀬行政区・立野下行政区の本格除染および町内全域の共同墓地並びに国道114号の拠点除染の工事については、現在入札の公告中で、来年早々の発注予定です。

仮置場が確保されていない他の行政区についても、引き続き仮置場の確保に向け関係行政区長と相談をしながら進めています。

今後とも、本格除染対象となる住民の皆様へ丁寧に説明し、仮置場の確保および除染作業へのご理解・ご協力をお願いしたいと考えています。

また、帰還困難区域の除染モデル事業の進捗状況ですが、赤字木地区は、除染工事および除染直後のモニタリングが終了しており、現在データの整理中です。

また、大堀地区・井手地区は、現在約95%の進捗状況となっております。年末に除染工事および除染直後のモニタリングが終了しま

震災等ガレキ処理

棚塩地区・請戸地区において、ガレキ処理に伴う仮置場・仮設焼却減容化施設設置計画の住民説明会を経て、現在、仮置場用地の土地使用の補償契約事務を環境省と進めています。

また、倒壊危険家屋の解体撤去工事についても、環境省が指定した緊急性のある5棟の家屋について、10月より解体の工事に着手し、11月末に工事が完了しました。

◆津波被災ガレキ

11月20日より請戸小学校、マリパークなみえ内に集積したガレキの選別作業に着手しています。敷地内でのガレキの選別作業であり、運搬等がない作業となっています。

また、津波不明者や思い出の品等の発見も想定されることから、丁寧な作業を実施していただき、来年の3月20日までに完了する予定です。

◆4大家電回収

12月号広報なみえの折り込み等にて、回収方法を町民の皆さまへ周知したところです。

請戸共同墓地整備

整備箇所の文化財試掘調査、地質調査、用地測量が完了し、現在、用地の取得事務を進めています。一日も早い墓地整備完了を

町民の健康管理



実現し、利用者の皆様が安心してお墓参りや納骨ができるよう事務を進めています。

震災後、避難生活が長期化するにつれ、運動量の減少、食習慣の変化、精神的ストレス、睡眠障害等により、生活習慣病の増加が懸念されます。

適度な運動、規則正しい食生活に心掛けるなど、生活習慣の改善に努められるようお願いいたします。

◆健康診査や検査の実施状況

弘前大学に依頼し行っている初期被ばく検査については、772名の採血が終了し染色体の解析が終了し、全員異常なしという結果が出ています。

◆内部被ばく検査

10月末現在、延べ18、411名の方が検査を受けており、昨年度以降検査された方全員が、預託実効線量1mSv未満となっています。

◆甲状せん検査

10月末現在、町および県を併せ、延べ4、420名の方が検査を受けられており、5月に1名の甲状せん癌の発症が県より報告されましたが、それ以降新たな発

症例は報告されていません。

◆総合医療センター(仮称)建設事業

二本松市内の復興公営住宅建設に併せ整備を予定している総合医療センター(仮称)建設事業については、10月末に基本設計委託業務を発注したところです。今後、町外コミュニティに必要な生活サービスとして、整備を進めます。

災害弔慰金

災害弔慰金等の支給に関して、平成23年3月11日津波および地震により直接死亡された方が184名、うち支給対象者が171名となっています。11月末現在、申出受理件数が171件、支払件数は同じく171件です。

また、災害関連死に関する弔慰金は、現在、双葉地方災害弔慰金審査委員会において、関連死の可否について審査をお願いしているところであり、11月末現在、申出受理件数が362件、うち審査件数が333件、うち認定件数が309件、支払件数が301件です。

敬老祝金

本年度満100歳になられる6名の賀寿の方々をはじめ、満80歳以上の高齢者1,909名の方に敬老祝い金、総額1千4百92万5千円をお贈りし、皆さまの長寿

浪江町戦没者追悼式・慰霊祭

浪江町戦没者追悼式・慰霊祭は2年ごとに開催していましたが、平成21年11月が浪江町での最後の開催となりました。

23年度は、震災のため見送りととなり、今年度4年ぶりに11月7日、二本松市ほうりん斎場で挙行しました。

来賓・遺族100名の参加者により、800有余柱の御霊をご慰霊しました。

民生委員・児童委員の委嘱

民生委員・児童委員については、本年12月1日をもって3年ごとの一斉改選をむかえました。

町民すべてが長期広域避難を強いられているこの厳しい状況の中で、社会福祉に対するご理解と熱意を持ってお引き受けいただいた59名の皆さまに、12月2日に委嘱状を伝達しました。

町民交流事業

◆県内交流会

10月5日に南相馬市、11月21日に福島市、11月27日に白河市で開催し、約150名が参加され、多くの町民が交流しています。

◆県外交流会

11月9日に山梨県甲府市、11月30日に茨城県那珂市で開催しました。

交流会では、町からの現状報告後に、国道114号線沿いの津島から浪江までの最近の風景や休憩施設「貴布祿」等の写真をスクリーンに映して、町の様子を見ていただきました。

◆復興支援員関係

9月14日に初めて山形、千葉、埼玉、新潟、京都5力所の支援員および支援員サポート団体合同の復興支援員推進会議を郡山市で開催し、それぞれの地域の取組みや課題等を共有しました。翌日に、現在の町内の状況も視察し、支援員にとって県外避難者への支援に繋がるとして、貴重な研修の場となりました。

◆応急仮設住宅

11月末現在、建設戸数2、893戸に対して入居戸数が2、251戸、入居人数は4、296人、入居率は77・8%です。

◆県内の特例借上げ住宅の状況

会津地方が136戸338人、中通り地方が2、392戸5、360人、浜通り地方が1、460戸2、806人、合計3、988戸8、504人です。

◆仮設住宅の一斉点検

管理者である県の発注により、11月11日から調査が進められており、年末までには点検完了の予定で、完了した団体から順次修繕等が実施されます。

町としても、8月下旬から独自に実施した点検結果および自治会長等からの報告等を取りまとめ、県に対し早急かつ適切な修繕について要望していきます。

◆県内の借上げ住宅の契約期間

平成26年3月31日までになつており、対象物件である約4、000件について、現在、再契約事務を進めています。

なお、供与期間は1年の延長で、平成27年3月31日までとなっています。

◆避難指示区域への立ち入り

11月末現在、浪江町通行証8、896件、車や同乗者の変更2、116件、浪江町臨時通行証7、219件を発行しています。

8月にはお墓参り等の申請が多く、臨時通行証1、469件を発行しました。

また、10月17日から20日の4日間のバス立入りについては、82世帯114名から申し込みがあり、実績は72世帯94名の立入りとなっています。

公益立入りについては、9月294件、10月641件、11月557件の発行実績となっています。

教育行政



◆浪江町長杯

避難生活が長期化する中でス

ポーツを通じて繋がりが合い励まし合おうと、浪江町長杯の各種大会が9月26日開催の第2回ゲートボール大会を皮切りに全4種目で開催されました。

県内外に避難している町民は近況を話し合うなど、親睦を深め楽しい雰囲気でのプレーが行われました。

なお、ゲートボール、グラウンドゴルフ、ソフトボール、家庭婦人バレーボールの4種目に、延べ人数で227名が参加しました。

◆第7回福島県市町村対抗軟式野球大会

浪江町チームの初戦となる試合が9月29日に福島市のあづま球場で行われました。

相手チームは1回戦で富岡町を破って勝ち上がった南相馬市で、浪江、南相馬とも好投手を擁することから緊迫した試合運びとなりました。浪江町チームは粘り強い攻撃で再三の得点チャンスを得ましたが決定打に欠け、相手から1点をもぎ取られて惜敗しました。避難生活で全員が集まったの練習ができないという状況で、監督も選手もふるさと浪江への熱い思いを胸に戦った好試合でした。

◆第25回市町村対抗福島県縦断駅伝大会

11月17日に白河市と福島市の間で行われました。

原発事故による全町避難が3年目となる今年、浪江町のチーム

は佐藤博文監督を中心に56名の選手およびマネージャーの皆さんが、連絡を密にしながら態勢を整えて年度当初からの合宿や土曜ごとの練習に取り組み、可能な限りの準備をしてレースに臨みました。

四半世紀という節目に加えて小春日よりの好天となったこの日の沿道には大勢の人々が詰めかけ、先日のB-1グランプリ優勝のビッグニュースの当事者である浪江町へは、ひととき大きな声援が送られました。選手たちはそれぞれ目標タイムをもつて力走した結果、町の部では11位と惜しくも入賞を逃しましたが、総合順位では昨年度の32位から29位へと押し上げて健闘ぶりを示しました。

◆子ども家族交流事業

被災による全町避難で全国に分散している浪江町の子どもの再会の場である「集まれ！なみえっ子」を10月14日と20日に猪苗代町の磐梯青少年交流の家で開催しました。

児童・生徒とその保護者等に教職員を加えた約210名が参加しました。開会式に続いて、午前中は全員が体育館でのレクリエーションを楽しみ、午後からは子どもたちは会津塗ペン立ての絵付け体験、保護者等は町長との懇談会に分かれて活動し、それぞれに有意義な時間を過ごすことができましたよう、名残りを惜しみ

ながら散会しました。

◆復興なみえ町十日市祭

11月23日から24日の両日に、JR二本松駅前周辺を会場に開かれ、浪江小学校と浪江中学校の子どもたちが学習成果などを発表しました。浪江小学校では全校児童による和太鼓の演奏、浪江中学校ではよさこい踊りが発表され、会場に詰めかけた大勢の観客から盛んな拍手が送られました。

◆地域伝統芸能全国大会福島大会ふるさとの祭り2013

9月14日と15日に、いわき市で「震災からのこころの復興」をテーマに「ふるさとの祭り2013」が実施され、浪江町からは大堀芸能保存会、南津島郷土芸術保存会の2団体が出場いただきました。

また、10月27日には青森県八戸市で第55回北海道東北ブロック民俗芸能大会が開催され、福島県代表として室原郷土芸能保存会が出演され、民俗芸能の保存活動に対する感謝状を受けられました。12月1日には震災以来請戸芸能保存会に出場いただいていた本宮市民俗芸能大会に、今年も南津島郷土芸術保存会に出場いただきました。いずれの団体も会員同士が全国に分散している中でも、郷土芸能の継承と地域のつながりを維持するために力を尽くされ、住民の方々に地域・ふるさとを思う心や、お互いの存在の大切さを伝えていただきました。

◆OECDのイッシンガー教育局長が浪江小学校を訪問

10月31日、OECDのイッシンガー教育局長が浪江小学校を訪問して状況をつぶさに視察されました。

OECDは東日本大震災から東北の教育が復興するための支援に早くから取り組んでいます。今回はその中心的役割を担う福島大学の関係者と共に訪れて教育長や校長との懇談、授業参観、局長による特別授業、子どもたちとの交流、全校教職員・児童との給食体験など、約2時間半の滞在でした。

5、6年生対象の特別授業では局長自身の体験を交えながら「変化を恐れず、新しいものに興味関心を持つことの大切さ」等について熱心に語りかけ、子どもたちの将来への夢に対しては温かい励ましの言葉を送られました。これに対して子どもたちが元気な歌声と浪江小学校オリジナルのTシャツを贈って感謝の気持ちを伝えるなど、交流を深めました。全町避難という困難な状況で明るく元気に学ぶ子どもたちと、これをしっかりと支える教職員の姿を目の当たりにして、局長はじめ福島大学関係者は浪江小学校に強い印象を抱いたようでした。

農業者意向調査の結果をお知らせします

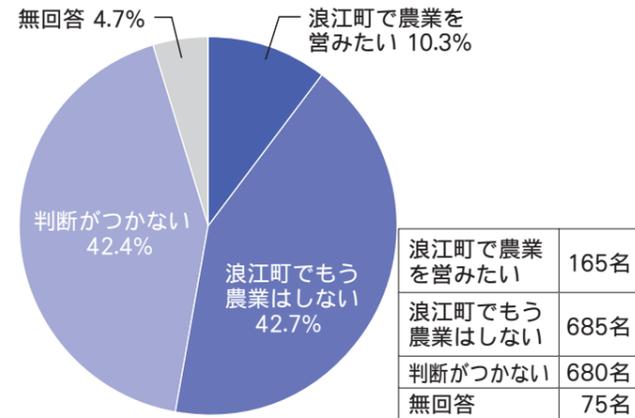
平成25年11月に実施しました農業者意向調査にご協力いただき、ありがとうございました。
 このたび、速報として調査結果をまとめましたのでお知らせします。さらに詳細な集計結果についてははとまり次第、町ホームページ等で公表していく予定です。今後、この調査結果を活用し、農地の保全を行うとともに営農再開に向けた取り組みを進めてまいります。
 また、回答者の26.7%（428名）の方から、自由記載欄にご意見等をお寄せいただきました。町の農業再生に向けては、皆さまからのご意見を尊重し取り組んでまいります。
 なお、意向調査で回答いただいた内容に関連し、ご協力をお願いするために、町から連絡をとらせていただく場合もあります。
 町としては、できるだけ多くの農業者の皆さまの、町の農業に対するご意向を確認したいところですので、調査票をまだ提出されていない方は、早めにご提出いただきますようお願いいたします。

問 産業・賠償対策課産業再生係 TEL 0243(62)0167

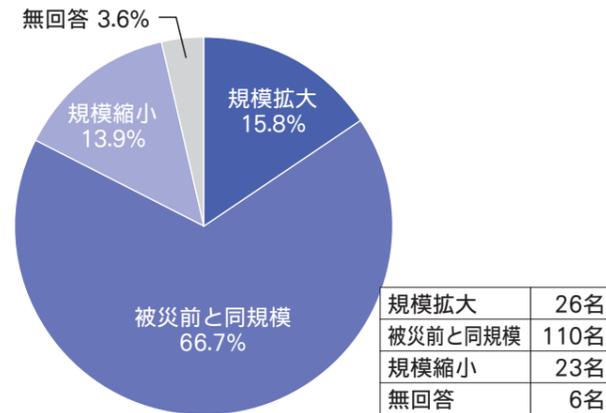
調査の概要

- 実施主体 浪江町
- 調査対象 2,530名 ① 町民の方で、浪江町内に農地を所有している方 ② 町民の方で、震災時に浪江町内に農地を借り受けていた方
- 調査時期 平成25年11月15日発送～平成26年1月6日回収分まで反映
- 調査方法 郵送法・記名方式 ■ 回収数 1,605名 ■ 回収率 63.4%

5 将来の浪江町での営農(回答者1,605名中)

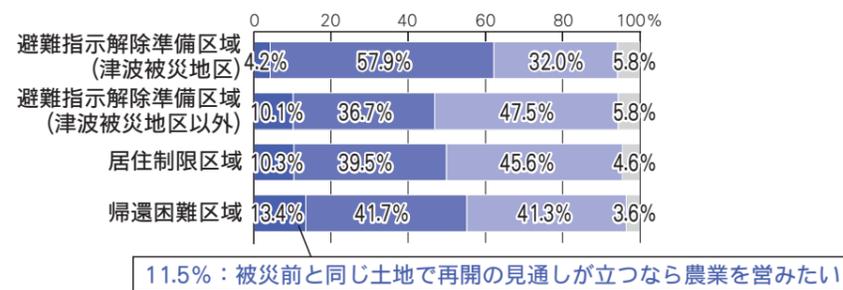


6 浪江町での将来の営農規模(農業を営みたいと回答した方165名中)

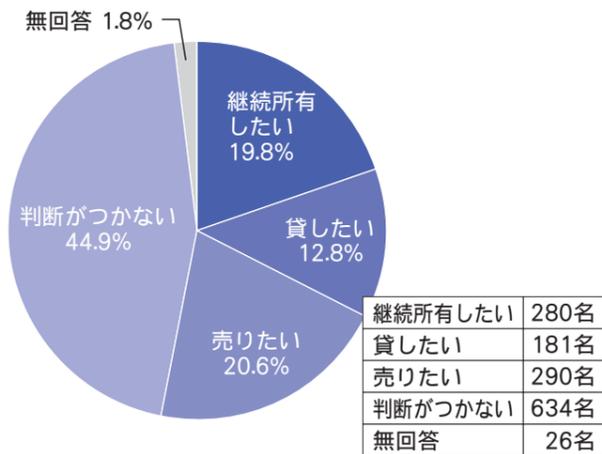


将来の浪江町での営農(区域別)

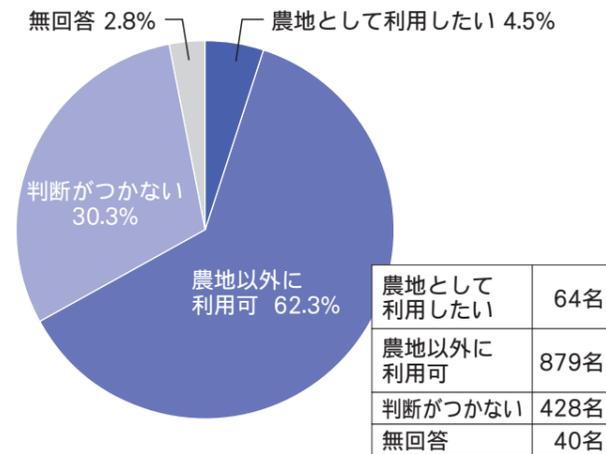
■ 浪江町で農業を営みたい
 ■ 浪江町でもう農業はしない
 ■ 判断がつかない
 ■ 無回答



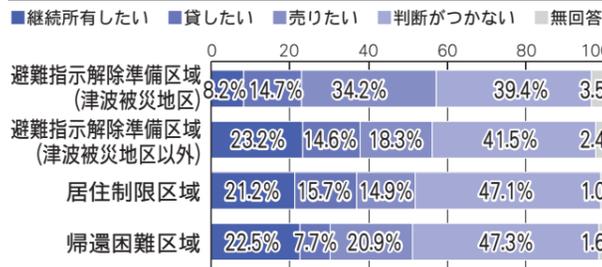
7 浪江町の農地の権利について(回答者のうち、農地所有者1,411名中)



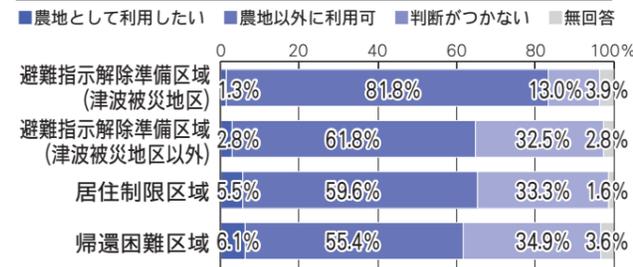
8 他の用途への利用について(回答者のうち、農地所有者1,411名中)



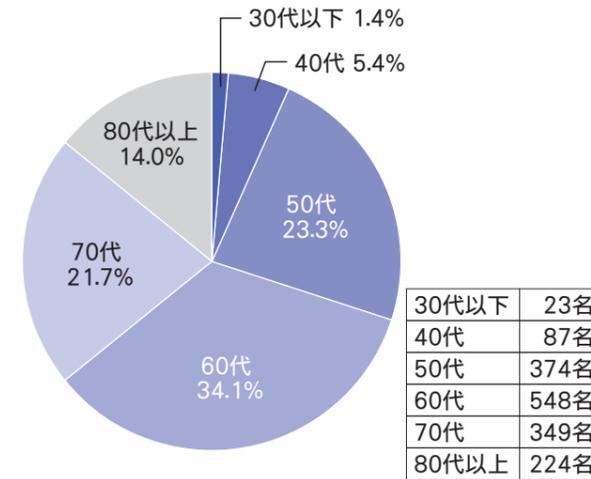
浪江町の農地の権利について(区域別)



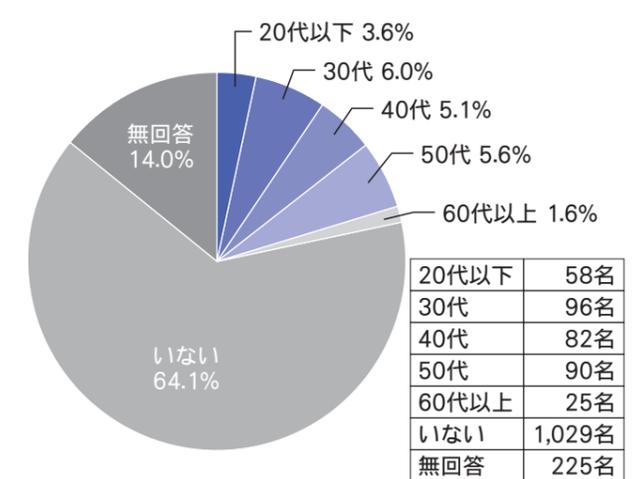
他の用途への利用について(区域別)



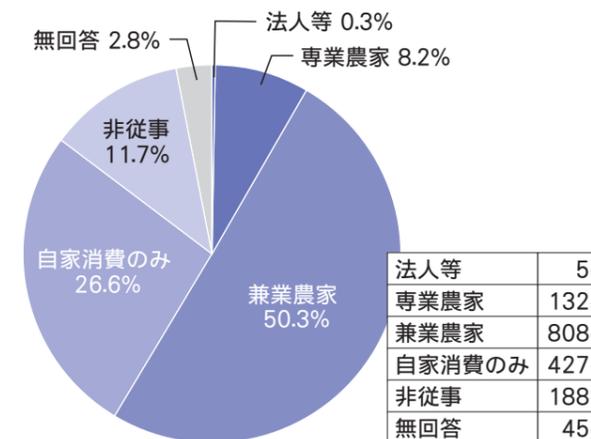
1 主たる農業従事者の年齢(回答者1,605名中)



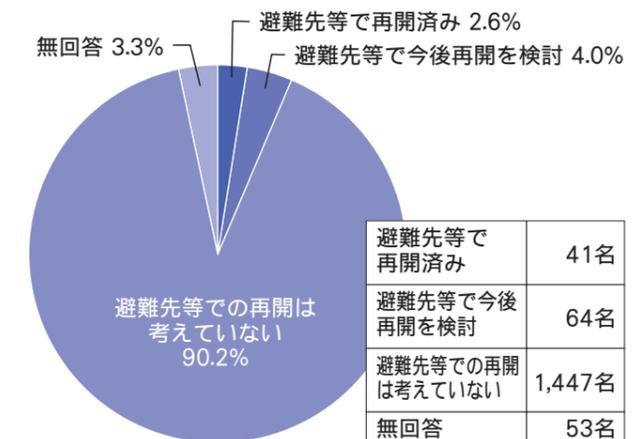
2 農業の後継者の年齢(回答者1,605名中)



3 被災前の農業形態(回答者1,605名中)



4 現在の再開状況(回答者1,605名中)



みんなで ともに 乗り越えよう

一時立入休憩施設「貴布祢」 土・日・祝日開所のお知らせ

一時立入休憩施設「貴布祢」は、12月まで土・日・祝日は休館日としていましたが、1月より土・日・祝日も開所しておりますのでお知らせします（年末年始を除く）。
*水洗トイレ、自動販売機が利用できますので、ご自由にお立ち寄りください。
▷開所時間 9時～16時まで

☎ 帰町準備室危機防災係 ☎ 0240(34)0229

避難区域内の 水の汚染状況検査結果

町で実施した避難区域内の水等の汚染状況検査結果をお知らせします。

区分	検査月日	採取地	検査結果
井戸水	12月3日	権現堂	不検出
	12月4日	川添	不検出
	12月5日	室原	不検出
河川流水	12月3日	やな場付近	不検出
底質	12月4日	やな場付近	4,050ベクレル/kg
海水	12月2日	請戸漁港	不検出

☎ 生活支援課生活安全係 ☎ 0243(62)0151

避難区域内の ゲルマニウム半導体検査結果

町が福島県に依頼し実施した避難区域内の取水場のゲルマニウム半導体検査結果をお知らせします。

区分	採取月日	採取地	検査結果
原水	12月17日	小野田取水場	不検出
		苅野取水場	不検出
		谷津田取水場	不検出
		大堀取水場	不検出

ゲルマニウム半導体検出器は、ゲルマニウムが持つ半導体（温度などの条件変化によって電気を通す率が変化する物質のこと）としての性質を利用して、水や食品などに含まれる微量の放射線（γ線）を測定し、放射性物質の種類やその量を測定する分析機器です。

☎ 復旧事業課上下水道係 ☎ 0240(34)0234

浪江町を復興していくためには、町民の生活再建・健康管理、インフラの復旧、賠償問題、絆の維持など多くの課題があります。

その中で、町がどのような取り組みをしているのかをお知らせします。

食品の放射能簡易分析結果

町では、食品中の放射性物質を測る機器を配備し、さまざまな食品等の安全安心のため放射性物質測定を実施しています。

■12月の分析結果（上竹倉庫受付分）

区分	検体数	検出された検体数	品名
野菜	4	0	100 ベクレル/kg以上
山菜、きのこ類	1	0	
米（新米）	4	0	
魚	0	0	
その他	21	2	ユズ
水（井戸水・湧水等）	0	0	
合計	30	2	

■12月の分析結果（浪江町役場本庁舎受付分）

区分	検体数	検出された検体数	品名
野菜	0	0	100 ベクレル/kg以上
山菜、きのこ類	1	0	
米（新米）	1	0	
魚	0	0	
その他	7	5	猪、ユズ、柿
水（井戸水・湧水等）	3	0	
合計	12	5	

食品衛生法における基準値（セシウム134、セシウム137の合算値）
●一般食品……100ベクレル/Kg ●飲用水……10ベクレル/Kg
●牛乳……50ベクレル/Kg ●乳幼児食品……50ベクレル/Kg

※浪江町内の食品は避難指示解除準備区域および居住制限区域のものを受け付けています。

食品の簡易測定は、随時受付しています。ご希望の方は、お問い合わせください。

☎ 申・問 上竹倉庫事務所 ☎ 0243(23)4774

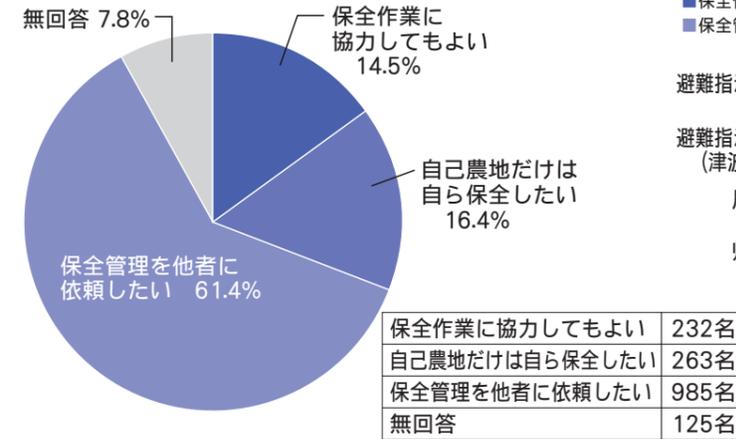
なみえの あの店この店

ふるさとを離れ、ふるさとを想いながら避難先であらたにスタートした企業・店舗の皆さんを応援してください。*掲載ご希望の企業・店舗の方は、ご連絡ください*

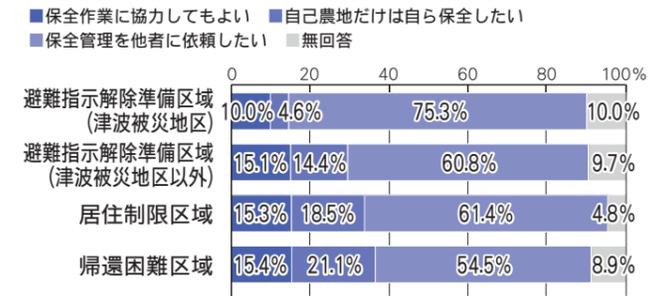
☎ 復興推進課情報統計係 ☎ 0243(62)4731

かとう美容室 加藤 喜志子
〒969-1104 福島県本宮市荒井字恵向121-6
☎ 0243(24)9939 (※恵向仮設内)

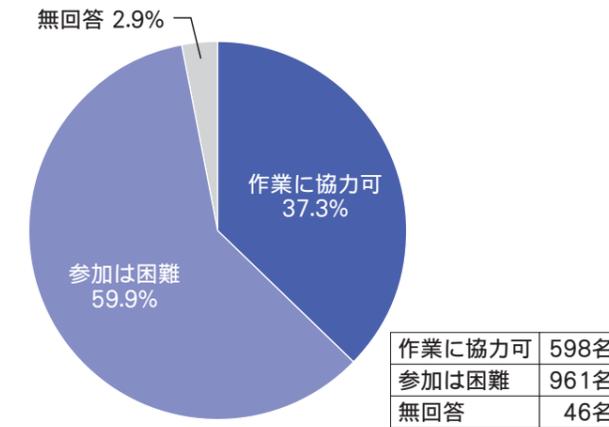
9 除染後の農地管理(回答者1,605名中)



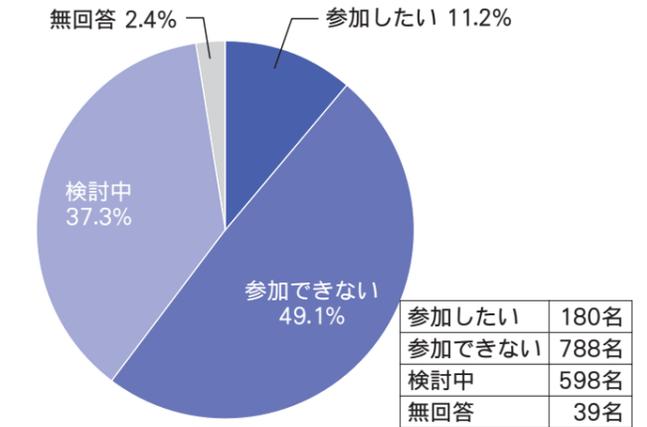
除染後の農地管理(区域別)



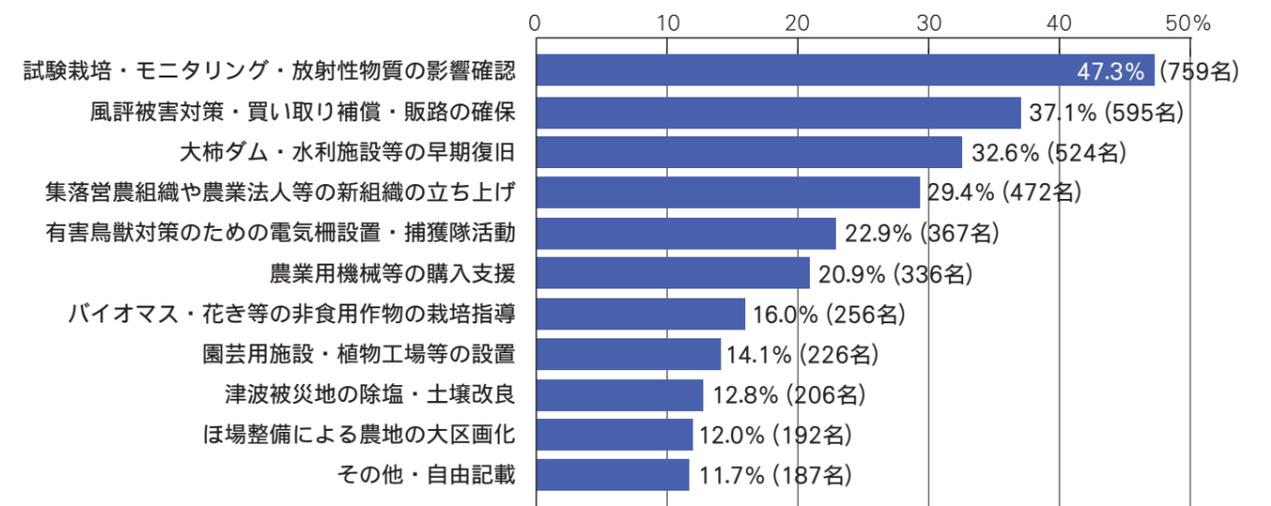
10 除染後の町内環境整備活動(回答者1,605名中)



11 農業者の意見交換会(回答者1,605名中)



12 期待する支援策・施策(回答者1,605名中、複数回答)



2月の休館日

3日(月) 10日(月) 11日(祝) 16日(日) 17日(月)
24日(月)

浪江 in 福島ライブラリー きぼう
(仮設浪江図書館)

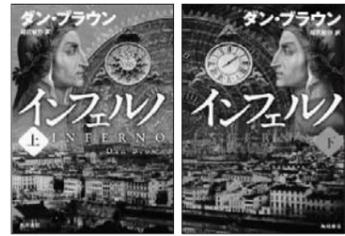
TEL・FAX 024(573)4295

〒960-0241 福島市笹谷字片目清水30-8

- ◆貸出冊数 1人5冊まで
- ◆利用時間 9時～17時
- ※お気軽にご利用ください。



読んでみませんか



「インフェルノ」上・下

ダン・ブラウン/著 角川書店2013

フェレンツェを舞台にラングドンが奔走する。「ダ・ヴィンチ・コード」のダン・ブラウン最新作。世界滅亡へのカウントダウンを阻止せよ!!



「四十九日のレシピ」

伊吹有喜/著
ポプラ社2010

突然、ある「レシピ」を残して母が亡くなった。大切な人を亡くした家族が再生に向かうまでの49日間、深い傷を負った主人公の最後の選択は…。



「人形出合い旅」

高橋まゆみ/著 信濃毎日新聞社2011

人形作家90カ所の展覧会会場で180万人が来場。人形作家高橋まゆみさんの人形を通じた出会い、思いが綴られている初の人形フォト&エッセー集です。

- 領収書
- 医師が発行する「おむつ使用証明書」
- ▽必要書類
- ▽初めて控除を受ける方
- ▽対象者
- おむつね6カ月以上寝たきりの状態にあると認められ、治療上おむつの使用が必要な方
- おむつ代の取扱いは、寝たきりの状態で、治療上おむつの使用が必要な人については、おむつ代が医療費控除の対象となります。確定申告に必要な方は、介護保険係0243(62)0172までお問い合わせください。
- 介護保険サービス(居宅サービスや施設サービス)利用料等のうち、医療費控除の対象となるものは、「医療費控除対象額」と領収書に記載されているものです。
- おむつ代の取扱いは、寝たきりの状態で、治療上おむつの使用が必要な人については、おむつ代が医療費控除の対象となります。確定申告に必要な方は、介護保険係0243(62)0172までお問い合わせください。
- 介護保険サービス(居宅サービスや施設サービス)利用料等のうち、医療費控除の対象となるものは、「医療費控除対象額」と領収書に記載されているものです。
- おむつ代の取扱いは、寝たきりの状態で、治療上おむつの使用が必要な人については、おむつ代が医療費控除の対象となります。確定申告に必要な方は、介護保険係0243(62)0172までお問い合わせください。

- 領収書
- 「おむつ使用証明書」に代えて、町が発行する「おむつ代医療費控除証明書」でも可
- 申請が必要になります。
- 65歳以上で、介護保険の要介護認定を受けている方は、障害者控除を受けられる場合があります。
- 対象者
- 65歳以上の浪江町介護保険被保険者で、要介護1から要介護5の認定を受けている方のうち、要件に該当する方。
- (要件とは、要介護認定時の主治医意見書の日常生活自立度によります。)
- ▽基準日
- 所得控除対象年の12月31日(被保険者が年の途中で死亡した場合は、当該死亡の日)
- ▽手続方法
- 浪江町役場町民税務課で申告する場合
- 手続は不要です。
- 上記以外の場合
- 「障害者控除対象者認定書」の申請手続きが必要ですが、申請書が必要な方は介護保険係にご連絡ください。(町ホームページからもダウンロード可)
- 「障害者控除対象者認定書」は申請書を審査し発行します。手続きは余裕をもって行うようお願いいたします。

介護保険と確定申告について

確定申告において、①社会保険料控除として介護保険料、②医療費控除として介護サービスの利用料、寝たきりの方のおむつ代、③障害者控除として所得税法上の障がい者と同等と認定された要介護認定者の方がいる場合などについては、所得税控除の対象となります。

①社会保険料控除
平成25年1月から12月の浪江町介護保険料は減免になっていないため、浪江町に住所を有する65歳以上の方で該当する方はおられます。

②医療費控除
介護保険サービス(居宅サービスや施設サービス)利用料等のうち、医療費控除の対象となるものは、「医療費控除対象額」と領収書に記載されているものです。

③障害者控除
65歳以上で、介護保険の要介護認定を受けている方は、障害者控除を受けられる場合があります。

●領収書

●「おむつ使用証明書」に代えて、町が発行する「おむつ代医療費控除証明書」でも可

●申請が必要になります。

●65歳以上の浪江町介護保険被保険者で、要介護1から要介護5の認定を受けている方のうち、要件に該当する方。

●(要件とは、要介護認定時の主治医意見書の日常生活自立度によります。)

▽基準日

●所得控除対象年の12月31日(被保険者が年の途中で死亡した場合は、当該死亡の日)

▽手続方法

●浪江町役場町民税務課で申告する場合

●手続は不要です。

●上記以外の場合

●「障害者控除対象者認定書」の申請手続きが必要ですが、申請書が必要な方は介護保険係にご連絡ください。(町ホームページからもダウンロード可)

●「障害者控除対象者認定書」は申請書を審査し発行します。手続きは余裕をもって行うようお願いいたします。

所得税確定申告(住民税申告)の相談

問 町民税務課課税係 TEL 0243(62)4735

平成25年分(平成25年1月～12月まで)の所得税確定申告(住民税申告)の相談を実施します。遠方に避難し、来場できない方で所得税に関する相談などがある方は、最寄りの税務署にご連絡ください。

所得税確定申告(住民税申告)の相談スケジュール

月日	時間	会場名
2月17日(月)	9時～15時	役場二本松事務所
2月18日(火)		
2月19日(水)		
2月20日(木)		
2月21日(金)		
2月22日(土)	申告休み	
2月23日(日)	9時～15時	役場二本松事務所
2月24日(月)		
2月25日(火)		
2月26日(水)		
2月27日(木)	申告休み(移動日)	
2月28日(金)	9時～15時	復興再生事務所(南相馬市)
3月1日(土)		
3月2日(日)	申告休み	
3月3日(月)	9時～15時	役場二本松事務所
3月4日(火)		
3月5日(水)		
3月6日(木)	申告休み(移動日)	
3月7日(金)	9時～15時	いわき出張所
3月8日(土)		
3月9日(日)	申告休み	
3月10日(月)	9時～15時	役場二本松事務所
3月11日(火)		
3月12日(水)		
3月13日(木)		
3月14日(金)		
3月15日(土)		

【ご注意ください】
2月27日(木)～3月1日(土)と3月6日(木)～3月8日(土)は、南相馬市およびいわき市会場準備受付のため、浪江町役場二本松事務所での申告相談はお休みとなります。

申告相談会場に持参いただきたい書類

項目等	添付または提示する書類
給与 雑・公的年金等	源泉徴収票(原本)
事業・営業等	白色申告者…
事業・農業	収支の内訳がわかるもの
不動産	
配当	種類に応じた支払通知書
給与(賠償金)	東京電力による賠償金がかかる明細書
事業・営業等(賠償金)	
事業・農業(賠償金)	
不動産(賠償金)	
生命保険料控除	支払った掛金額の証明書
地震保険料控除	支払額などの証明書

※還付金などが発生する可能性もありますので、預金通帳と印鑑(認印(シャチハタ不可))を忘れずにご持参ください。
※平成22年分、平成23年分および平成24年分の所得税確定申告で自宅や家財の雑損控除をされている方は、その申告書の控えをご持参ください。
※会社等で年末調整している方で、その給与以外に収入のない方は確定申告をする必要はありません。

県内の税務署の確定申告会場

開設期間
2月3日(月)～3月17日(月)
※白河除く

※土・日・祝日は除きます。
※白河市産業プラザ人材育成センター会場は、2月10日(月)から開設します。
※喜多方署・田島署以外は、税務署内に「申告書作成会場」を設置していませんのでご注意ください。

税務署	会場	開設時間	連絡先
福島	ウィル福島(福島市鎌田字卸町10-1) ※2月23日・3月2日の日曜日も開設します。	9時30分～16時	024-534-3121
会津若松	会津ロイヤルプラザ 2階(会津若松市中町3-53)	9時～16時	0242-27-4311
郡山	南東北総合卸センター協同組合イベントホール(郡山市喜久田町卸一丁目1-1)	9時30分～16時	024-932-2041
いわき	イオンいわき店 2階(いわき市平字三倉68-1)	9時～16時	0246-23-2141
白河	白河市産業プラザ人材育成センター 2階講堂(白河市中田140)	9時～16時	0248-22-7111
須賀川	須賀川市産業会館 2階(須賀川市花園34-2)	9時～16時	0248-75-2194
喜多方	喜多方税務署(喜多方市字中島7513-3)	9時～17時	0241-24-5050
相馬	相馬市振興ビル 6階(相馬市中村字塚ノ町65-16)	9時～16時	0244-36-3111
二本松	二本松市市民交流センター(二本松市本町2-3-1) ※駐車場は有料です。	9時15分～16時	0243-22-1192
田島	田島税務署(南会津郡南会津町田島字寺前甲2939-2)	9時～17時	0241-62-1230

広げよう
ママ友の輪

かもめっ子クラブ「親子あそび教室」

たくさんのお子さんとママの参加をお待ちしています。
参加希望の方は、当日会場にお越しください。



△南相馬市 (12月26日)
サンタさんがプレゼントを持って遊びにきてくれました。



△郡山市 (12月17日)
少人数での開催となりましたが、広い会場をいっぱい使って元気に遊びました。



△いわき市 (12月19日)
いつもたくさんママとお子さんにご参加いただいています。



今月の かもめっ子クラブ

- ◆郡山市 2月18日(火) 10時～ 郡山市総合福祉センター
- ◆いわき市 2月20日(木) 10時～ いわき市文化センター

寒い日が続きます。これを食べればこころも体もぼかぼか。インフルエンザや風邪に負けない体を目指しましょう。

白菜と豆腐のチゲ

【材料(1人分)】124kcal

木綿豆腐…50g 白菜…40g にら…30g
もやし…20g 豚もも肉うす切り(脂身を除く)…20g
A〔キムチの素…30ml 水…120ml〕

【作り方】

- ①白菜は一口大に切る。にらは長さ3cmぐらいに切る。
- ②豚肉は幅2cmぐらいに切る。
- ③鍋にAを入れて煮立て、豚肉、もやしを入れ、次に白菜を加えて煮る。
- ④豆腐を2cm角ぐらいにちぎりながら加え、最後ににらを加えてひと煮する。

いつも元気 健康レシピ



予防接種忘れていませんか

対象年齢を過ぎると費用が個人負担になりますので、ご注意ください。

【麻しん・風しん混合ワクチン】

	対象年齢	接種期間
I 期	1歳から2歳未満	1歳の誕生日の前日から2歳の誕生日の前々日まで
II 期	幼稚園年長児に相当する年齢	平成26年3月31日まで

【二種混合(破傷風・ジフテリア)ワクチン】

▷対象年齢 11歳以上13歳未満の方
※小学6年に相当する年齢
*不明な点はお問い合わせください。
(県外に避難している方は、避難先の市区町村にお問い合わせください。)



生活習慣を見直して、 メタボ脱出!

広報なみえ1月号「保健だより」では、震災前後の健診結果の比較をお知らせしました。

震災後は、男女ともに体重が増えている方や脂質異常の方などが増えています。

肥満はメタボリックシンドローム(以下、メタボ)への入り口です。不規則な食事や食べ過ぎ、運動不足、過度の飲酒など、毎日の生活習慣の積み重ねで起こります。メタボを予防するため、生活習慣を見直しましょう。

メタボとは……

内臓のまわりに脂肪がたくさんついた上、脂質異常、高血圧、高血糖のどれか2つ以上を抱えている状態です。個々の状態が軽度でも、重なることで動脈硬化を急速に進行させ、心臓病や脳卒中など命にかかわる病気を引き起こします。



【生活習慣を見直す】といっても、何をすればいいの? どうしたらいいのかわからない。

そんなあなたのために、ワンポイントアドバイス!

食生活

必要なのは、体を動かして脂肪を燃焼させ、内臓脂肪を減らすことと筋力を強化して代謝を上げること。自分で楽しんでできることから始めましょう。

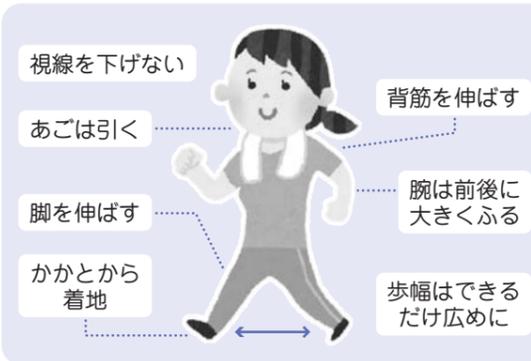
日常生活での工夫

- ★できるだけ階段を使う
- ★こまめに家事を行う
- ★バスを自転車に変える
- ★歩ける距離なら歩く
- ★買い物は徒歩で



ウォーキングで脂肪を燃焼

体にかかる負担が少ないウォーキングがおすすめ



運動

食べ過ぎや遅い時間の食事、朝食抜きなどの食生活の乱れは、内臓脂肪をためる一番の原因です。1日3食バランスよく、自分に合ったエネルギー量を守ることを意識しましょう。

内臓脂肪をためない食生活のコツ

- ★1日3食食べよう
朝食をとる習慣をつけましょう。
- ★よくかんで食べよう
食べ過ぎてしまわないよう、よくかんで、ゆっくり食べましょう。
- ★食事を楽しもう
ながら食いは食べた量がわかりづらくなります。食事を楽しみ、味わって食べましょう。
- ★寝る前2時間は食べない
夜遅い食事はそのあとに使うエネルギーが少ないため、過剰分が脂肪に変わりやすくなります。
- ★今までより1割減らそう
特に肉や魚などの主菜、ご飯などの主食、調味料は控えめに。
- ★野菜をたっぷり食べよう

野菜は少量でも満腹感が得られ、食べ過ぎを防げます。1日350g以上いろいろな色の野菜をとりましょう。



今日から迷わず即実践! 内臓脂肪を減らしてメタボを防ぎましょう。

いつかためになる

法律知識

Vol.4 相続



弁護士 井上 航
産業・賠償対策課 主幹
(所属：第二東京弁護士会)

原発賠償に関して知っておきたい大事なポイントの解説と、日々の生活で問題が起きた際に迷わず対応するための予備知識をお伝えしていくコーナーです。

今回は相続で注意すべきことをお伝えします。

相続とは、死者（被相続人）の財産を誰かに継がせるための制度です。被相続人が生前に有効な遺言書を残していれば、原則として遺言書のとおり継がせることとなります。遺言書を作成していないなどの場合には、話し合って配分を決めてもいいですし、法定相続分どおりに分割することもできます。

注意しなければならないのは、マイナスの財産、つまり借金なども相続しなければなりません。

特に注意しなければならないのは、被相続人が保証人になっていた場合です。被相続人から何も聞かされておらず、借主（主債務者）が破産するなどしたことで保証人（被相続人）に請求が来て初めて知ったというの珍しいことではありません。その場合に、「知らなかった」で通らないこともあるのです。

商店を自営していたという場合は、金融機関や公庫からまとまった借入れがあったかもしれません。商店を畳んだ時に破産などの清算手続をしていけばいいですが、清算をせずに放置したままであるとか、分割の約束をして毎月少額を返済していたようなケースも少なくありません。消費税などの税未納や公共料金の未納も相続の対象になり、高額の延滞金が付加されていることもあります。故人に借金があり相続をして相続をするような場合には、相続放棄をすることもできます。原則としてお亡くなりになったことを知ってから3カ月以内（3カ月以内と考えておいた方が安全です。）に家庭裁判所で相

Q 震災後、兄が亡くなり、前に亡くなったお兄さんが営んでいた小さな商店もそのころに畳んだようです。兄に子どもはいませんが、私たちの母は92歳で老人ホームに入っています。相続手続はどうすればいいのでしょうか。

A まず注意しなければならないのは、意外と高額な借金が残っている可能性がある点です。商店を自営していたという場合は、金融機関や公庫からまとまった借入れがあったかもしれません。商店を畳んだ時に破産などの清算手続をしていけばいいですが、清算をせずに放置したままであるとか、分割の約束をして毎月少額を返済していたようなケースも少なくありません。消費税などの税未納や公共料金の未納も相続の対象になり、高額の延滞金が付加されていることもあります。故人に借金があり相続をして相続をするような場合には、相続放棄をすることもできます。原則としてお亡くなりになったことを知ってから3カ月以内（3カ月以内と考えておいた方が安全です。）に家庭裁判所で相

相談はこちらまで

- 福島県弁護士会 原子力発電所事故被害者救済支援センター
TEL 024(533)7770
*受付窓口 (平日10時~15時)
- 震災法テラスダイヤル
TEL 0120(078309)
*福島市・二本松市・双葉郡広野町に相談できる事務所があります。県外の法テラスも紹介してもらえます。

問 産業賠償対策課賠償支援係
TEL 0243(62)0167

続放棄手続を取ることになります。借金の状況がわからず、3カ月以内に相続放棄をすべきか決めることができないときは家庭裁判所に期間延長を申し出ることになります。

ご質問のケースで、お兄様の相続人はお母様になります。お母様が相続放棄をした場合、お兄様の兄弟姉妹、つまり質問者様が相続人となりますので、お母様に続いて相続放棄することを検討することになります。

お兄様の借金の有無は、預金通帳、契約書、帳簿や請求書、郵便物などを調査するか、お兄様が住んでいた地元の金融機関に問い合わせることになります。不安があれば弁護士や司法書士などに相談した方がいいでしょう。

お兄様が原発事故の避難指示区域に住んでいたのであれば、東京電力に対する賠償請求も相続することができます。ここで注意しなければならないのは、お兄様の財産を質問者様が自身のために使うとか、質問者様が相続人として賠償請求をするなどした場合に法定単純承認と言って相続放棄ができなくなることもあります。

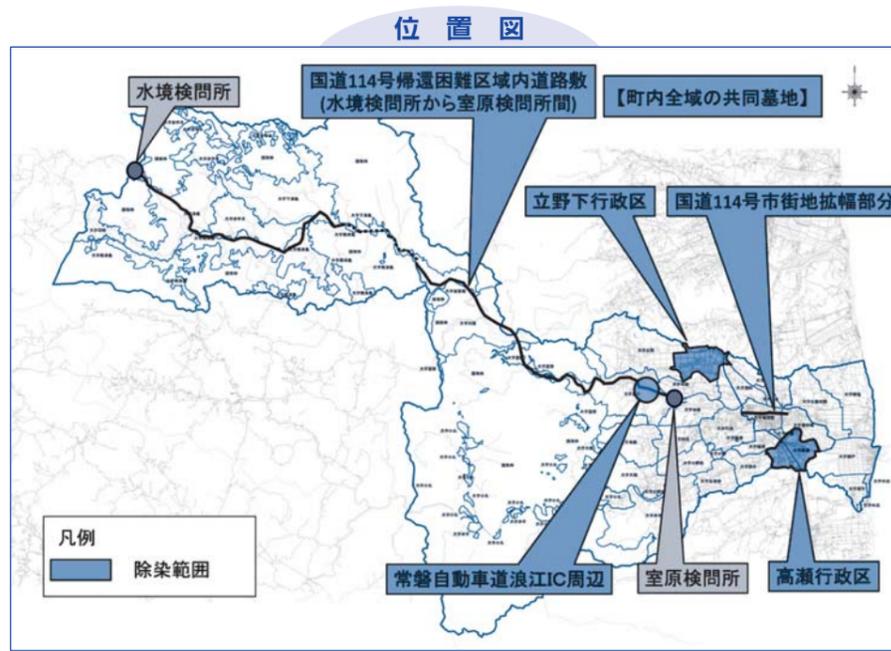
相続放棄は原則としてお亡くなりになったことを知ってから3カ月以内にする必要がありますが、3カ月を超えてできる場合もあります。諦めずにご相談ください。

なお、故人に関する義援金の請求や生命保険金の請求などについては、相続放棄に関わらずできることもありますのでご相談ください。

平成25年度 浪江町本格除染等 工事(その2)が始まりました

国（環境省）は、特別地域内除染実施計画に基づき、仮置場確保等の除染業務発注に必要な条件が整った地域から本格除染の発注を行っています。標記の工事について、次のとおり始まりましたのでお知らせします。除染作業の開始に伴い、交通量が増加することが予測されますので、一時帰宅の際には十分に注意して頂きますようお願いします。なお、除染作業に関わる運転手と作業員には、作業車両の交通事故防止対策として、運搬ルート の徹底および教育並びに必要なに応じて交通誘導員の配置等を行います。

本格除染	高瀬行政区、立野下行政区
先行除染	国道114号帰還困難区域内道路敷（水境検問所から室原検問所間）、常磐自動車道浪江IC周辺、国道114号市街地拡幅部分、町内全域の共同墓地
工期	平成26年1月20日から平成27年1月30日
施工業者	安藤・間・不動テトラ・浅沼組、岩田地崎建設特定建設工事共同企業体



特別地域内除染実施計画 「一部改訂」の公表について

国は、「除染の進捗状況についての総点検」（平成25年9月10日環境省発表）を踏まえ、町と協議を行い、平成25年12月26日に特別地域内除染実施計画「一部改訂」を公表しました。今後、国はこの計画に沿って浪江町の除染を進めていくこととなります。

環境省 福島環境再生事務所 浜通り北支所 浪江担当 TEL 0244(26)9912

協和発酵キリン卓球交流会 (福島市北幹線第一仮設住宅)

12月15日、協和発酵キリン卓球部の選手が参加する卓球交流会が福島市北幹線第一仮設住宅で行われました。

この交流会は、キリングループによる「復興応援キリン絆プロジェクト」のひとつで、笑顔の輪を広げる活動として行われたものです。

なお、協和発酵キリン株式会社様からは、今回交流会で使った卓球台(1台)とピンポン玉のほか、参加者全員にTシャツとお茶をいただきました。

交流会では、空くじなしの抽選会(景品:ラケットなど)なども行われ、ピンポン玉が弾むように心も弾み、笑顔が弾けていました。



ありがとうございました

栃木県黒磯市立黒磯中学校の皆さんから町へ義援金と仮設住宅の皆さんへ復興の祈りが込められた手作りのお菓子をいただきました。

黒磯中学校3年2組の皆さんは、総合的な学習の時間に“ボランティア”をテーマに授業を行いました。そこで、東日本大震災の被災地へ自分たちができることはないかと考え、1カ月にわたり募金活動を行ってきました。

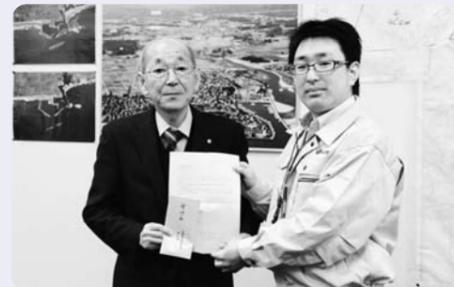
活動をする中で、実際に現地へ行きたいとの思いが強くなり、地元黒磯那須青年会議所から浪江青年会議所を通じて役場にコンタクトし、12月26日、14名の生徒の皆さんの役場二本松事務所訪問が実現しました。



榎野副町長から町の状況説明を受ける生徒の皆さん



福島一兵様
(浪江町出身の歌手)
から町へ義援金を
いただきました。



右 猪原亮祐さん
(現在、笠岡市から浪江町へ派遣職員として応援いただいています。)

「笠岡弦楽合奏団 アニマート」(岡山県笠岡市を中心に音楽活動をしている演奏団体)の団長、中村幸太郎様から町へ寄附金をいただきました。

この寄附金は、昨年11月に開催された東日本大震災復興支援コンサートで募金活動を行って集められたものです。団員の菅謙治さんが24年度の1年間、笠岡市から浪江町への派遣職員として応援をいただいていた経緯から、町へご寄附いただきました。



大聖寺の鐘つき

大晦日の12月31日正午より、大聖寺(町内)において、除夜の鐘つきが行われました。

本来であれば大晦日の夜に除夜の鐘を突きますが、現在は避難指示の状況が続いており、夜間の宿泊が認められていないため、日中に行われたものです。

大聖寺の青田敦郎住職は、「来年は特例宿泊が可能となって、夜に鐘つきができるといい。やっぱり明るい空の下では雰囲気が出ないよね。」と話されました。

また、町内に一時立ち入りされていた町民の方が大聖寺を訪れ、「お墓参りも兼ねて自宅に来てみたら鐘の音が聞こえてきた。もしやと思い足を伸ばしてみました。」と話され、ご家族の皆さんが交代で鐘をついて行きました。

静かな町内には鐘の音が遠くまで響きました。



皆さまの身の回りにある楽しい話題、
いっぴう変わった話題などの情報を募集しています。

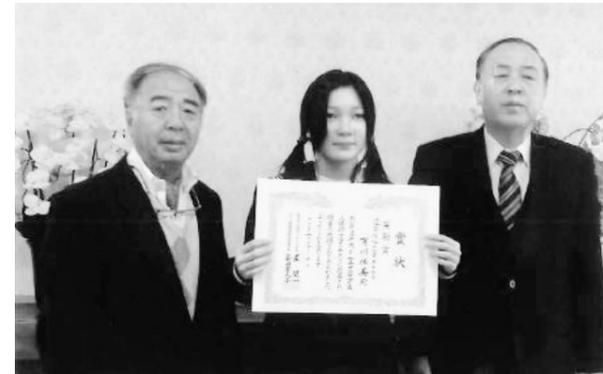
問 復興推進課情報統計係
TEL 0243(62)4731

中学生人権作文 コンテスト表彰

浪江中学校2年生の有川祐美さんの作文“未来の自分がより美しく”が、福島地方務局いわき支局長・いわき人権擁護委員協議会長より「奨励賞」を授与されました。

(本年度は県内143校から4,967編の応募がありました。)

また、全校生が応募した浪江中学校に対し、福島地方務局長・福島県人権擁護委員連合会長より感謝状が贈られました。

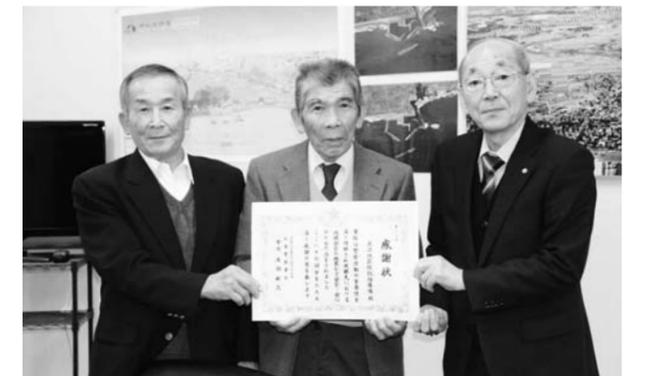


左から 浪江町人権擁護委員 鈴木恵一さん、有川祐美さん、浪江中学校長 濱名新一さん

浪江地区防犯指導隊へ双葉警察署より感謝状贈呈

12月27日に双葉警察署より感謝状が贈られた、浪江地区防犯指導隊の君島勝見隊長と高橋政雄副隊長が1月7日に役場二本松事務所を訪れ、町長に報告をしました。

この感謝状は、震災以来二本松を中心に、本宮市・福島市・桑折町と県内の仮設住宅を防犯巡回するなど、地域安全活動の功労をたたえたものです。



左から 君島勝見隊長、高橋政雄副隊長

自治会の活動

二本松市
旧平石小学校仮設住宅自治会

門松・しめ縄・鏡餅づくりと懇親会

12月23日、二本松市旧平石小学校仮設住宅において、門松・しめ縄・鏡餅づくりが行われました（震災以降毎年行っており、今年で3回目）。

町民の方からは「門松の作り方がわかる方も高齢となってしまった。こうした文化も若い方に伝えていければ良いのだが…」といった声も聞かれました。

お昼にはつきたてのお餅を入れたお雑煮が振る舞われ、多くの町民の方が集まりました。また、余興などもあり、皆さん明るく、笑顔で新年を迎える準備をされていました。



ここからは広告です。

第32回全国公募・学生部併催

煌心展

酷寒の折ですが何卒ご清鑑を賜りたくご案内申し上げます。

主催 **煌心書道会**
会長 松崎龍翠(俊憲)
福島県二本松市金色401-8
FAX 0243-24-1961

後援 **産経新聞社**

平成26年
2月15日(土)~21日(金) 17日 休館

開催時間 9時30分~17時30分(入場は17時迄)
初日4時開場 最終日4時30分終了(入場は14時迄)

上野公園 東京都美術館

賛助出品 原田直之氏
浪江町名誉町民受章
福島県外在住功労者知事表彰受章
(財)日本歌手協会理事長
(財)日本民謡協会より「民謡老人位」受章

作品 90×90cm

情報

- 問 問合せ
- 申 申込み
- 電 電話
- フ ファクス
- メ メールアドレス
- ホ ホームページアドレス
- フ リーダイヤル

ぴっくあっぷ

+ 仮設津島診療所のお医者さん

問 仮設津島診療所 TEL 0243(24)1431

■診療時間 午前：9時～12時
午後：14時～16時

2月3日(月)	関根・佐川(午後)
4日(火)	関根・佐川(午後)・弘前大学
5日(水)	関根・西・福島医大(午前)
6日(木)	関根・今村
7日(金)	関根・玉井・佐川(午後)
10日(月)	関根・佐川(午後)
12日(水)	関根・西・福島医大(午前)
13日(木)	関根・今村・弘前大学
14日(金)	関根・玉井・佐川(午後)
17日(月)	関根・佐川(午後)
18日(火)	関根・佐川(午後)・弘前大学
19日(水)	関根・西・福島医大(午前)
20日(木)	関根
21日(金)	関根・玉井・佐川(午後)
24日(月)	関根・佐川(午後)
25日(火)	関根・佐川(午後)
26日(水)	関根・西・福島医大(午前)
27日(木)	関根・今村・弘前大学
28日(金)	関根・玉井・佐川(午後) (都合により変更あり)

「福島県借上げ住宅 特例措置」の 受付延長

平成26年3月までに入居可能な物件(福島県内の民間賃貸住宅)についても受付が可能となりました。

※「やむを得ない事情とは」福島県外の応急仮設住宅(民間借上げ住宅等を含む)から県内の応急仮設に住み替える場合や、就学、新規就労のため遠方から地元方向へ戻る住

み替えの場合に限ります。(住環境改善や世帯分離による場合は原則認められません。)

年金出張相談会のお知らせ

次のとおり年金出張相談会を開催します。年金のことでお悩みの方はご利用ください。

- ▽日時 2月19日(水) 10時～16時
- ▽場所 役場二本松事務所
- ▽相談内容 老齢年金、障害年金、遺族年金の請求をはじめ、年金に関すること(共済年金、農業者年金は除く)。
- ▽予約方法 原則、事前の予約が必要です。申・東北福島年金事務所お客様相談室
- TEL 024(534)0444 (受付時間 8時30分～17時15分)

過去2年間に 国民年金保険料の 未納期間がある方へ

国民年金保険料について、免除申請できる対象期間が拡大されます。国民年金は、所得が少ないときや災害・失業等により保険料

を納付することが経済的に困難な場合、保険料の免除を申請することができます。

平成26年4月からは、申請時点の2年1カ月前の月分まで申請ができるようになります。

▽申請方法 お近くの年金事務所または役場に申請してください。必要な添付書類など、詳しくはお問い合わせください。

▽注意点 ●2年1カ月前の月分まで免除申請をすることができますが、

申請が遅れると、万一の際に障害年金などを受け取れない場合がありますので、すみやかに申請してください。

●申請期間に対応する前年所得に基づき、審査を行いますので、免除が承認されない場合もあります。

TEL 問 平年金事務所
0246(23)5611

平成25年度浪江町 東日本大震災追悼式の開催

平成23年3月11日午後2時46分、震度6強の地震、そして沿岸部を襲った大津波により、184名の死者・行方不明者、600棟以上の家屋等が流失するなどの甚大な被害を受けました。

震災よりはや3年目となり、亡くなられた方々のご冥福と、行方不明者の方が一日も早くご家族のもとへ帰られることをお祈りし、町主催による追悼式を執り行います。

日時 3月11日(火) 13時より
場所 如水典礼さくらホール
(浪江町大字高瀬字原田2番地)

※ご遺族の方は2月10日(月)までに出席回答票をご返送ください。

問 介護福祉課福祉係 TEL 0243(62)4737

「営農相談窓口」 双葉農業普及所

双葉農業普及所では、避難されている農家の皆さんの相談窓口を設置しています。農産物・土壌のモニタリング結果のほか、農業技術情報や資金・事業の紹介など、わかりやすく説明しますので、お気軽にお越しください。

▽日時 2月14日(金) 10時～12時

▽場所 役場二本松事務所

※ほかにも、県内5カ所に開設しています。日時・場所はお問い合わせください。

▽お問い合わせください。
TEL 0246(24)6044
*ブログ「ふたばの農業通信」
URL <http://blog.goone.jp/fu-tabafukyu>

障害年金受給等で 法定免除を 受けている方へ

国民年金保険料の通常納付ができるようになります。障害基礎年金の受給などにより法定免除となっている方について、平成26年4月から、保険

料を通常納付できる「納付申出制度」がはじまります。納付申出により、保険料の口座振替や前納による保険料の割引など、便利でお得な制度をあわせてご利用いただけるようになります。

▽手続方法 お近くの年金事務所または役場に申出書を提出してください。詳しくはお問い合わせください。

法テラス二本松 弁護士セミナー開催

法テラス二本松では、現在専門家によるリレーセミナーを開催しています。(受講料無料)2月は「弁護士」です。

▽日時 2月18日(火)

10時30分～11時30分

▽場所 法テラス二本松(二本松図書館前)

▽内容 「遺言のすすめ」

●個別相談(予約優先)

13時～15時30分

▽定員 20名(先着順)

●平成26年度「浪江町奨学資金」の申請を受付けます●

▶貸与対象者(次の要件をすべて満たす方)

- 高等学校、高等専門学校、専修学校(修業年限2年以上)または大学もしくはこれに準ずる学校に在学し、品行が正しく、学術に優れ、身体が強健であること。
- 合格当時、浪江町に引き続き2年以上住所を有していること。
- 経済的理由により修学が困難と認められること。
- 国、県または他の団体から同種類の奨学資金の貸与または給付を受けていないこと。

▶貸与額

- 高等学校、高等専門学校および専修学校高等課程の在学者……………月額12,000円(自宅外通学者は22,000円)
- 専修学校専門課程および大学並びにこれに準ずる学校の在学者……………月額30,000円

※注 貸与期間は在学する学校の修学期間で、貸与した金額(無利息)は、卒業月の6カ月後から、学校種別に応じ7年または10年以内に返還していただきます。

きます。

▶申請方法

奨学資金貸付願書に、学校長による推せん書および成績証明書並びに教育委員会が必要と認める書類を添付し、教育委員会へ提出してください。

※注1 連帯保証人2人が必要で、うち1人については親権者、後見人または扶養義務者、もう1人については町内に本籍および住所を有する方になります。これらの方は、願書に署名および押印(実印)をお願いします。

※注2 願書および推せん書は、教育委員会にありますが、町のホームページにも掲載しています。

※注3 随時受け付けをしていますが、平成26年4月から貸与を受けたい方は、平成26年3月14日(金)までに提出してください。

問 教育委員会事務局学校教育係
TEL 0243(62)0301

町内モニタリングポスト測定結果

原子力規制委員会で町内90カ所に設置したモニタリングポストのうち58カ所の測定結果をお知らせします。なお、設置カ所すべての測定結果情報はホームページで閲覧できます。

*原子力規制委員会放射線モニタリング情報
URL <http://radioactivity.nsr.go.jp/>

問 原子力規制委員会
原子力規制庁監視情報課
TEL 03(5114)2125

(単位:μSv/h)

測定地点	1/1	1/15	測定地点	1/1	1/15	測定地点	1/1	1/15
幾世橋(幾世橋小学校付近)	0.2	0.2	北棚塩総合集会所	0.1	0.1	大字津島集会所	1.6	1.3
浪江小学校	0.6	0.6	幾世橋集会所	0.2	0.2	葛久保集会所	6.6	5.6
大堀小学校	2.6	2.4	権現堂集会所	0.5	0.5	下津島集会所	3.4	3.0
苅野小学校	3.3	3.1	樋渡牛渡集会所	2.7	2.6	南津島上集会所	3.5	2.7
津島小学校	3.2	2.9	高瀬多目的集会所	0.5	0.5	末森集会所	4.0	3.8
浪江中学校	4.5	4.4	田尻集会所	1.2	1.1	藤橋消防屯所	0.5	0.5
浪江東中学校	0.2	0.2	小野田集会所	1.6	1.5	昼曾根屯所	10.1	9.7
津島中学校	1.5	1.4	酒井集会所	2.6	2.5	JR浪江駅前	0.8	0.8
浪江高等学校	0.9	0.8	百間沢集会所	0.3	0.3	陶芸の杜おおぼり	8.5	8.3
浪江高等学校津島校	7.1	6.0	谷津田集会所	0.8	0.8	浪江(中央公園付近)	0.6	0.6
浪江町役場	0.1	0.1	室原北向集会所	3.2	3.1	新町ふれあい広場	0.4	0.3
津島活性化センター	0.7	0.6	室原上組集会所	4.8	4.6	丈六公園	2.7	2.7
浪江町公民館幾世橋分館	0.1	0.1	酒田集会所	2.3	2.2	浪江ひまわり荘	2.2	2.2
佐屋前公民館	1.7	1.7	立野中多目的集会所	3.4	3.2	大柿簡易郵便局	9.8	9.5
室原公民館	3.0	2.9	加倉集会所	1.9	1.8	川添葉山会館	2.4	2.3
苅宿公民館	2.0	1.9	手七郎集会所	6.6	5.5	中上ノ原町営住宅	2.3	2.2
上立野公民館	2.4	2.4	家老集会所	5.8	5.5	井手多目的研修センター	5.3	5.1
浪江公民館苅野分館	3.4	3.3	赤宇木集会所	7.0	6.5	南下コミュニティセンター	4.3	3.7
大字講戸集会所	0.07	0.07	小丸多目的集会所	18.7	18.3			
棚塩集会所	0.09	0.09	羽附集会所	0.3	0.2			

復興まちづくり計画 パブリックコメント実施のお知らせ

浪江町復興計画策定委員会(まちづくり計画検討部会)では、浪江町内の復興に向けた検討を重ねてきました。このたび、その中間案がまとまりましたので、町民の皆さまからご意見を伺う「パブリックコメント」を実施します。いただいたご意見は、最終取りまとめに向けた参考とさせていただきます。ふるさと浪江町の再生に向けて、皆さまの想いをぜひ聞かせてください。

▶計画書の閲覧方法

2月上旬に各世帯に計画書を郵送します。また、町ホームページでもご覧になれます。

▶意見の提出方法

計画書に同封の意見提出様式または町ホームページからご提出ください。

▶意見の受付期限

平成26年2月21日(金) 17時 必着

問 浪江町復興計画策定委員会まちづくり計画検討部会
(事務局:復興推進課まちづくり整備係)
TEL 0243(62)4731

ここから下は広告です。



浪江町高瀬で廃車買取を行っていたナプロアース(旧ナプロフクシマ)は現在 伊達市で営業を再開しております。不要になったお車の処分はナプロアースにお任せ下さい。浪江町に置きっぱなしになっているお車も引取りに伺います。廃車手続き・引取り無料です。お気軽にお問い合わせください。

●廃車 ●事故車 ●不要車 ●引き取り ●見取り ●廃車手続き ●税金 保険料の 還付手続き ●無料!

高価買取! ナプロアースの ナプロアース 0120-814-726

わたしたちのまち

(平成25年12月末現在)

人口	19,402人	転入	18人
男	9,482人	転出	48人
女	9,920人	出生	16人
世帯数	7,233戸	死亡	23人

※転入は、震災後転出した方の再転入のみ。
※人口は、外国人を含みます。

※この欄には、連絡がとれた方のみ掲載しています。住民票を町外に異動された方で、掲載希望の方はご連絡ください。

復興推進課情報統計係 TEL 0243(62)4731

お誕生

出生届は14日以内に

こどもの名(性別)	親の名	住所
11月		
高田 璃来(女)	耕喜・優美	川添
木幡 湊乃(女)	龍司・彩乃	立野
石田 新(男)	剛健・友里恵	棚塩
斉藤 千晃(男)	秀樹・綾子	高瀬
石崎 光(男)	純一・夕里菜	羽附
長峰 輝龍(男)	昂輝・麗奈	川添
木原 響也(男)	賢一・まゆ子	高瀬
根本 みゆ(女)	豊・夢香	室原
山田 深介(男)	紀幸・真由美	大堀
佐久間 一(女)	義寿・香澄	
12月		
鈴木 利里(女)	孝祐希・有香里	樋渡
田村 愛結佳(女)	利幸・徳子	樋渡
三瓶 璃葵(女)	守光・美沙稀	川添
本田 玲人(男)	和久・留衣	権現堂
金子 瑞花(女)	竜次・千鶴子	川添
鈴木 慧太郎(男)	聡一郎・由里子	樋渡

お悔み

死亡届は7日以内に

死亡者名	年齢	住所
11月		
宮川 守隆	85歳	権現堂
志賀 隆式	78歳	大堀
佐藤 暁美	66歳	川添
紺野 翔斗	0歳	権現堂
渡部 トシ子	82歳	幾世橋
五十嵐 清松	91歳	南津島
山田 弘宗	74歳	井手
今村 信幸	57歳	井手
菅野 武裕	74歳	南津島
木幡 強志	74歳	田尻
中田 忠一	82歳	棚塩
末永 正宜	86歳	川添
阿部 典子	82歳	幾世橋

死亡者名	年齢	住所
斉藤 和子	83歳	権現堂
半谷 扶	86歳	小野田
12月		
松本 ミエ子	89歳	棚塩
武内 好光	54歳	樋渡
金澤 良成	66歳	権現堂
谷田 シツエ	95歳	酒田
今村 充弘	66歳	井手
伊賀 八ナヨ	86歳	請戸
高橋 キミ子	91歳	権現堂
佐藤 キミ子	68歳	高瀬
沼上 トミ	86歳	西台
鈴木 キセ	92歳	権現堂
青田 幸子	71歳	権現堂

死亡者名	年齢	住所
渡邊 博之	83歳	加倉
半谷 廣男	72歳	大堀
木幡 愛子	57歳	南津島
小林 美江	83歳	川添
目迫 サタ	82歳	井手
木村 トモ子	73歳	川房
吉田 寅雄	87歳	幾世橋
高橋 昭三	82歳	棚塩
佐藤 厚	57歳	井手
佐藤 勇	105歳	権現堂
門馬 シゲ	106歳	権現堂
佐藤 睦子	88歳	北幾世橋
愛澤 正通	90歳	小野田

浪江消防署からのお知らせ

火災予防に心掛けましょう

冬は空気が乾燥しており、また、暖房器具や火気を使用する機会が多くなるため、ちょっとした不注意から火災が発生しやすい季節です。今年に入り全国各地で火災が多発し、たくさんの尊い命が失われています。火の取扱いには十分注意し、火の用心を心掛けましょう。

■ 3つの習慣

- ①寝たばこは、絶対に止めましょう。
- ②暖房器具は、燃えやすいものから離れた位置で使用しましょう。
- ③ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消しましょう。

■ 4つの対策

- ①逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器などを設置する。
- ②寝具・衣類・カーテンからの火災を防ぐために、防災品を使用する。
- ③火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器などを設置する。
- ④高齢者や身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。

浪江消防署・富岡消防署川内出張所
TEL 0240(38)2119

お詫びと訂正

「浪江のこころ通信 第31号」に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

22頁 鎌田理恵子さん (誤)千葉県 (正)東京都
24頁 石井 絹江さん (誤)群馬県 (正)福島県

大卒等 合同企業説明会開催

福島労働局では、平成27年3月大学等を卒業予定の方を対象に、県内事業所(120社参加予定)の説明会を開催します。ぜひご参加ください。

▽日時 2月25日(火) 10時～11時
●職種・業界研究ゼミ
●事業所PRタイム 11時～12時
●合同企業説明会 12時30分～16時
▽会場 ビッグバレットふくしま(郡山市南2丁目52番地)
▽その他
●事前申込み不要
●参加事業所は開催1週間前に、福島労働局ホームページ上で公開します。
●事業所のブースにおける人事担当者の事業・職務内容の説明、今後の採用計画等の情報提供、ハローワーク等各機関による職業相談・情報提供等を行います。

▽主催 郡山新卒応援ハローワーク、福島労働局(ハローワーク) 郡山新卒応援ハローワーク
TEL 024(927)4633

日本政策金融公庫 からのお知らせ

中小企業・小規模事業者、農林漁業の皆さまからの年度末の資金需要のご相談を受け付けています。

東日本大震災の影響を受けた皆さまに向けた特別な融資制度もご用意しています。計画的な資金繰りのために、お早めにご相談ください。

詳しくは事業資金相談ダイヤルへお問い合わせください。
0120(154)505

平成26年度 自衛隊幹部候補生を募集します

自衛隊福島地方協力本部では、次のとおり自衛隊幹部候補生を募集します。応募資格や試験の詳細内容についてはお問い合わせください。

●受付期間● 2月1日(土)～4月25日(金) 締切日必着

募集種目	区分	男子	女子	
一般幹部候補生(大卒程度試験)	陸上自衛隊	一般要員	約110名	約10名
	海上自衛隊	一般要員	約50名	約10名
		飛行要員		
一般幹部候補生(院卒者試験)	航空自衛隊	一般要員	約40名	約10名
		飛行要員		
	陸上自衛隊	一般要員(理・工学)	約10名	
一般要員(法学)		若干名		
海上自衛隊		一般要員(理・工学)	約20名	
航空自衛隊	一般要員	約10名		
	飛行要員			

自衛隊福島地方協力本部 相双地域事務所
TEL・FAX 0244(23)4712

ここから下は広告です。

新規 OPEN アクティブタイヤサービス 出張タイヤ交換

タイヤ交換・販売 お電話一本で(予約制)
ご自宅や会社など、ご指定の場所まで伺いサービスカーにて、訪問作業いたします。

※震災後、車のタイヤ管理・保管等にお困りの方、是非ご連絡下さい。

《業務内容》

- タイヤ販売・出張交換
- レンタカー&リース
- 車検&整備&中古車販売
- カークリーニング
- 廃車・事故車・不動車引取り

ACTIVE

出張タイヤ交換・販売致します 受付時間 9:00～17:00
〒970-8026 福島県いわき市平字長橋町15-1
連絡先. 080-4514-1555



福島県

熊川 勝さん(請戸)

取材者：NPO法人市民公益活動パートナーズ 古山
取材日：12月26日

ここを出る時のことを 何も思い浮かべることができないのです

津波で奥様を目の前で亡くした熊川さんは、今でも仮設に祀る遺影に向かって語りかけ続けているそうです。これまでの出来事を「あの時こうだったら」「もっとこうしていたら」と振り返るたびに悲しかったり悔しかったりするけれど、まもなく3年目を迎える二本松市塩沢での暮らしにすっかり馴染み、自治会長として毎日みんなとどう楽しく過ごすのが元気の源、とおっしゃいます。



▲「妻とは見合いましたが、一目惚れでした」と照れながら話してくださった熊川さん

これまででありがとう」と言ううちに、妻が波に引き込まれてしまいました。私はウィンドブレーカーが浮輪替わりになったのか、どうにか屋根に登り、254号線の古い橋桁に網が引っかかっているのが見えたので流されている家から飛び移りました。

■理不尽な思いもしたけれど、さまざまなお会いに感謝しています

その日は役場へ避難し、裸のまま毛布1枚で一晩過ごしました。翌朝「バスに乗れ！」という声と共に大勢の人たちが津島へ向かってしまい、取り残された私は長兄を頼って南相馬市に移りました。ここでも避難指示が出され次兄と旅館に移動後、私は横浜に嫁いだ娘を頼ることにし、僅かな情報を頼りに福島空港へ向かいました。そこで青森から来た親切な青年と出会い、おかげで那須塩原から新幹線で横浜まで辿り着きました。娘に妻を助けられなかったことを詫言ると「お父さんだけでも生きていてよかったです」と答えてくれました。

テレビで4月14日から浪江の遺体捜索が始まることを知り、妻に会いたい一心で福島へ戻りました。

2011年8月にこの塩沢の仮設住宅への入居と同時に自治会長を務めています。最初は約90世帯あったのですが、現在は63世帯100人弱。小学生は1人だけで、もう少しいると賑やかでしょうけれど、今年のクリスマス会には普段出て来ない男性も参加しました。他にも二本松自治会連合会やランドゴルフ等、いろいろな団体の会長をしており、結構忙しくしています。また、仮設での交流会では皆さんと会話を楽しんでいきます。

浪江に早くお墓を作り、妻を安らかに成仏させてやりたいと思っています。私自身はこれから復興住宅に入る気もしないし、先が見えない今、まだ何も考えられないのが正直な気持ちです。

■私だけが大了した怪我もなく、助かりました

あの日の午前中は中学校の卒業式に出席し、午後のグラウンドゴルフからの帰り道で地震に遭いました。道が浮き上がり、電柱が倒れてくる中、車を飛ばして帰宅すると、両膝の手術をして歩行が不自由だった妻が私を見て、安堵した表情を浮かべました。ふと見上げると今まで真っ青だった空が突然真っ暗になり、津波が家を直撃しました。妻を抱え階段の踊り場まで駆け上がりましたが、直ぐに波に囲まれてしまい、死を覚悟しながらひつしと抱き合い「これで終わりか、

これまででありがとう」と言ううちに、妻が波に引き込まれてしまいました。私はウィンドブレーカーが浮輪替わりになったのか、どうにか屋根に登り、254号線の古い橋桁に網が引っかかっているのが見えたので流されている家から飛び移りました。

■理不尽な思いもしたけれど、さまざまなお会いに感謝しています

その日は役場へ避難し、裸のまま毛布1枚で一晩過ごしました。

2011年8月にこの塩沢の仮設住宅への入居と同時に自治会長を務めています。最初は約90世帯あったのですが、現在は63世帯100人弱。小学生は1人だけで、もう少しいると賑やかでしょうけれど、今年のクリスマス会には普段出て来ない男性も参加しました。他にも二本松自治会連合会やランドゴルフ等、いろいろな団体の会長をしており、結構忙しくしています。また、仮設での交流会では皆さんと会話を楽しんでいきます。

浪江に早くお墓を作り、妻を安らかに成仏させてやりたいと思っています。私自身はこれから復興住宅に入る気もしないし、先が見えない今、まだ何も考えられないのが正直な気持ちです。

浪江の ころ通信



・第32号・

平成23年3月11日に発生した東日本大震災、そして福島第一原子力発電所の事故により、福島県内外に分散避難した浪江町民。長期化する避難生活、先の見えない不安の中で、町民の皆さんがどのような思いで生活し、ふるさとへの思いを抱いているのか。

こうした町民の思いをつなげるために、“浪江のころプロジェクト”が立ち上げられました。一般社団法人東北圏地域づくりコンソーシアム(※)が中心となり、全国各地のNPO、大学等の皆さんが取材を進め、浪江町との連携のもと「浪江のころ通信」が編集・発行されます。

浪江のころプロジェクトは、分散避難している町民の皆さんの声を「浪江のころ通信」を通してお届けし、ふるさと浪江町がかつての暮らしを取り戻すことへの願いとこだわりを発信・共有しようとするものです。

※一般社団法人東北圏地域づくりコンソーシアムは、東北圏(7県)の地域コミュニティ再生や協働のまちづくりの推進を目的として、大学、NPO、企業、経済団体、行政等が連携したコミュニティ支援ネットワーク。仙台が本拠地。

再取材シリーズ 再会・浪江のころ

これまで取材を受けていただいた皆さんに、再度の取材を行うコーナーです。

3・11から2年以上が経過した今、感じていること、伝えたいこと、そして最初の取材以降の気持ちの変化やふるさとへの思いなど皆さんの声をお届けします。

「浪江のころ通信／第32号」への感想をお寄せください。

【連絡先】〒964-0984 福島県二本松市北トロミ573番地
「浪江のころ通信」宛
FAX.0243(22)4218



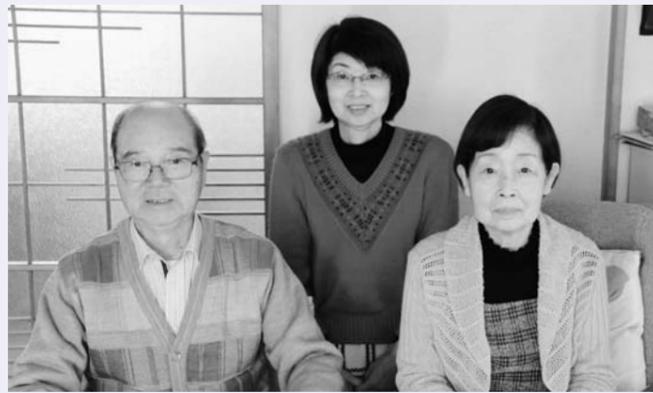


伊集院律子さん(大堀)

取材者：浪江町役場 舩田・嶋原
取材日：12月5日

音楽が結んでくれた人との繋がり

『浪江のこころ通信』第1号に掲載の伊集院律子さんは、当初の取材時には新潟県上越市に避難されていましたが、震災の年の10月末から南相馬市でご両親と3人暮らしをなさっています。現在お住まいの借上げ住宅の一室でピアノを教えるだけでなく、合唱団の指導や自らも合唱団員として歌うなど音楽と関わることで生き生きと過ごしていらっしゃいます。



▲ご両親と一緒に
(左から)父 近藤 洋さん、律子さん、母 近藤スミ子さん

上越にいたときは、これからどこで生活したらいいのか漠然としていて、どこに住むか当てがない状態でした。
そんな時、浪江の時から関わっていた南相馬市の合唱団「ゆめはつと」のメンバーの方が、福島に戻ってこないかと言って住まいを探して下さり引っ越しすることができました。ひとりではど

う動いてよいかわからなかったもので、親身になってくださった方々には感謝の気持ちでいっぱいです。改めて人のつながりの有難さと大切さを感じました。
南相馬市は浪江に近いし、気候もほぼ同じなので住みやすいところですよ。ずっと気になっていたのでお墓も最近直すことができました。
ここに住んですぐに、浪江の子どもや近所の子どもがピアノや音楽を習いに来てくれました。受験を控えている生徒もいて合格した時は本当に嬉しかったです。昨年4月には、避難先から原町に戻ってくる子どもが増えて、今は小学生、中学生、高校生に大人の方までレッスンに来てくれます。合唱団の指導としては、「ゆめはつと合唱団」だけでなく、福島で活動している「浪江混声合唱団」と、相馬市で練習している「ゴール・かしま」にも行っています。そのほかに趣味として、自分たちで楽しむ10人程のアンサンブル「エビピアノ」で歌っています。

浪江町の友だちには、用事に合わせて東京まで会いに出掛けたり、メールをしています。住まいが離れてしまった孫たちの姿は、フォトフレームから送られてくる写真を見たり、保育園の行事がある時は岐阜県の下呂市に会いに行きます。それから気掛かりなのは、浪江町で教えていた生徒たちが、避難先で元気なのか、音楽は続けているのかなということ。音楽をやめるのはもったいないので続けていければと思います。生徒たちが音楽を好きでいて欲しいですね。
色々なことが不安と言えませんが、何をどう考えていいかわからなかった震災当時とは違います。浪江にいた時より忙しい日々ですが、目一杯やれて充実しています。自分が出ることをやれるのは良いです。好きなことを仕事にしているので、仕事がある以上は続けていきたいと思っています。



曽根 行正さん・明美さん(権現堂)

取材者：コミュニティ・ワークス 青木
取材日：12月25日

お世話になった皆さまにまた会える日を願って！

明美さんのご両親と息子さん、そして愛犬クッキーとフェリーに乗り、震災5日目には、叔母夫婦が暮らす北海道恵庭市へ。当時中学校を卒業したばかりの息子さんも、3月には高校を卒業します。「3年通いました。ここで…」と、時間の経過をあらためて実感しながらお話をいただきました。



▲愛犬クッキーも一緒にポーズ！

■浪江町から恵庭市へ
父の代で3代目となる「松乃家」を両親とともに営んでおりました。あの日は、お店が休みだったのでみんな家におり、子どもは中学校の卒業式でした。式典が終わり、昼食を済ませ買い物に行こうと、私が外に出たら珍しく犬が吠えたので戻ったところ揺れが始まり、ものすごく怖かったことを覚えています。
夫は仕事で、同僚とトラックで走っていて、茨城の鹿島の辺りで地震に遭いました。無線で

やりとりし、日立の山の方から裏道を通り、迷いながらも茨城で6号線へ出ました。津波を被った後で道路には冷蔵庫などが転がっていたそうです。普通なら4〜5時間くらい道のりだけで、20時間以上かかって富岡まで来ました。会社の社長が迎えに来てくれて、原町から川俣に避難して、3日目に家族と合流しました。それから新潟周りで車にガソリンを入れ、フェリーで北海道に向かい、恵庭市にいる叔母のところへ一旦お世話になりました。避難生活が長引くことがわかったので、その後叔母の家に近い団地に移りました。はじめは両親も同じ団地にいましたが、今は近くのマンションで暮らしています。

■楽しみをひとつずつ広げて
子どもはこちらの高校に入學しました。はじめは誰も知りませんでした。入学後すぐに宿泊学習があり、それをきっかけにお友達が増えて楽しく通学してくれるようになり、安心しました。今は進学したいと頑張っています。両親は、越して

きた年は市役所の人たちが持つてきてくれる企画によく参加していました。知らない所に来たので、楽しみにしていたようです。最近は地元のNPOから、餅つきや日帰りバスツアーに誘われて行っています。また叔父が苫小牧に父を釣りに連れて行ってくれて、その時は大漁だったようです。父は大好きな釣りができてとても喜んでいました。本当に叔母夫婦には大変感謝しています。

■気になることは

やっぱり住むところは早く決めたいです。「復興」ってなんだろうと考えることもあります。町に戻る前提もありますが、正直、戻れるのかという不安もあります。こちらに来てから浪江の方にお会いしたことがないので、北海道にいる浪江の方にお会いしたい、そんな思いもあります。震災の日までたくさんのお世話になりました。また皆さまにお会いできる日が来ることを願っております。

連絡先一覧

- 浪江町役場二本松事務所
〒964-0984
二本松市北ト口ミ573番地
TEL 0243(62)0123 FAX 0243(22)4261
- 復興再生事務所（浪江町役場本庁舎）
帰町準備室・復旧事業課・ふるさと再生課
〒979-1592
双葉郡浪江町大字幾世橋字六反田7-2
TEL 0240(34)2111
- 復興再生事務所（前南相馬出張所）
帰町準備室庶務係の一部職員が勤務しています。
〒975-0039
南相馬市原町区青葉町2-62-2
TEL 0244(23)1112 FAX 0244(23)1114
- 福島出張所
〒960-8601
福島市五老内町3番1号
（福島市役所9階西側）
TEL 024(535)0750 FAX 024(535)0753
- 本宮出張所
〒969-1203
本宮市白岩字堤崎494番地22
（本宮市役所白沢総合支所1階）
TEL 0243(44)1185・1186
FAX 0243(44)1187
- 桑折出張所
〒969-1611
伊達郡桑折町字東大隅18番地
（桑折町役場2階）
TEL 024(582)2130 FAX 024(582)2135
- いわき出張所
〒970-8026
いわき市平字堂根町1番地の4
（いわき市文化センター2階第4会議室）
TEL 0246(24)0020 FAX 0246(24)0026
- 浪江町議会事務局
〒964-0984
二本松市北ト口ミ573番地
TEL 0243(62)0196 FAX 0243(22)4231
- 浪江町教育委員会
〒964-0984
二本松市北ト口ミ573番地
TEL 0243(62)0301 FAX 0243(22)4223
- 浪江町社会福祉協議会
〒964-0984
二本松市北ト口ミ520番地
TEL 0243(62)0877 FAX 0243(23)7970
- 仮設津島診療所
〒969-1404
二本松市油井字長谷堂230番地
TEL 0243(24)1431

ここからは広告です。

- ・クレーン作業
- ・工事車両リース・レンタル
- ・トレーラー・トラック運送
- ・一般貨物自動車運送事業







株式会社 伊達重機

【いわき営業所】〒970-8003
福島県いわき市平下平窪字味噌農2-2
TEL0246-88-1812 / FAX0246-88-1813

【楡葉営業所】〒979-0606
福島県双葉郡楡葉町上繁岡字小六郎87-14
TEL0240-25-8753 / FAX0240-25-8783

【本社】〒979-1504
福島県双葉郡浪江町大字酒田字上原18-7

客室のご案内（全53室）

タイプ（朝食付き）	お一部屋ご宿泊代
シングルルーム	5,400円
ダブルルーム	7,500円
ツインルーム	9,000円

◇ 専用駐車場有（有料）
◇ 禁煙ルーム有
◇ チェックイン15:00 / チェックアウト10:00

主要アクセス
JR常磐線 / 高速バス いわき駅南口より徒歩3分

HOTEL なみえ TEL 0246-24-2555
FAX 0246-22-0512

〒970-8026 福島県いわき市平字南町63-1



発行・編集 福島県浪江町役場復興推進課

〒964-0984 福島県二本松市北ト口ミ573番地
TEL 0243(62)4731 FAX 0243(22)4218
<http://www.town.namie.fukushima.jp>